

**TDR250 XV250** ビラーゴ

シグナス125 タウンメイト (ニューカラー)

そろって新発売

特集

新走行体験 TDR250

夢とロマン、そして冒険心。

★**3000円**



# 円熟の乗り心地と余裕の走り

## シグナス125発売 (1月14日)

- カラー:シルキーホワイト/ミディアムグレイ  
フェザーブラック/ミディアムグレイ
- 標準現金価格:259,000円(北海道、沖縄および一部離島を除く)

快適な乗り心地と安定した走行感でアダルト層を中心に根強い支持を得る『シグナス125』が、発売4年目を迎えてリフレッシュしました。新しい『シグナス125』は、飽きのこない風格あるデザインと手軽で素直な実用性に一層の磨きをかけ、さらに静粛性や快適性をも大幅に向上させています。どうぞ大人の乗り味を、お客さまにご案内ください。

### ●シグナス125の主な変更点

**静** 静粛性の向上を目的に細部にわたって見直しを行なった一軸バランス内蔵の4サイクルOHC・単気筒のねばり強いエンジン。

**足** つき性の向上とともに、ウーリーナイロンの使用により冷寒時でも硬化しにくくソフトな新型ダブルシート。

**積** 載性をグンと向上させた前後30%、左右20%の大型リヤキャリア。設置を低くし、荷物の積み下ろしも楽になりました。

**安** 定した走りを生む100/90-10の扁平ワイド・チューブレスタイヤを前後ともに採用。

**見** やすいレイアウトのニューデザイン・メーターパネル。

**フ** ロント回りをグッと引き締めるニューデザイン・フロントサスペンションカバーとビドロ仕上げの立体エンブレム。



## 装い一新 タウンメイト

クリーン&サイレント、4サイクルならではの低燃費エンジン、さらにメンテナンス・フリーのシャフトドライブ駆動で人気を集めるタウンメイトが、価格はそのままだに、カラーリングとグラフィックを一新しました。街に調和する新カラーはアーバングリーン。お仕事をするみなさんに、広くおすすめください。



※スタンダードは現行カラーです。

ストリートとオン・オフの走行機能を融和させ  
ファン・ライディングの世界を広げる

# TDR250

**新発売** (1月20日より)

- カラー:ブラック/ファラウェーブルー
- 標準現金価格:479,000円  
(北海道、沖縄および一部離島を除く)



10月のエジプト・ファラオラリーでのクラス優勝を皮切りに、11月の東京モーターショーでのデビュー、さらに12月からのデビューキャンペーンと、発売前から大きな話題を巻き起こしているニュースポーツ「TDR250」が、いよいよ1月20日より新登場します。

'88年スポーツバイク商戦の最重点モデル「TDR250」、どうぞ春のシーズン立上がりに向けて、積極的な需要開拓活動をご展開ください。[グラビアページに、八丈島で開催されたTDR250専門誌発表試乗会におけるコンセプト解説があります。あわせてご参照ください]

●TDR250セールスポイント

**ポテンシャルはTZRゆすり**

**T**DR250のパワーユニットは、ハイパワーとクイックレスポンスで定評のTZR250の2サイクル・水冷・バラレルツインがベース。スリムで大容量のエアクリーナー、オフ走行を考慮した新セッティングのフラットバルブ・キャブレターさらにクランク室リードバルブ等の見直しで吸気効率を向上。また排気系も、デジタル制御Y.P.V.Sと新設計クロスアップマフラーでつねに理想的な排気脈動効果を得、排気効率を高めています。最高出力45PS/9500rpm、最大トルク3.6kgm/8500rpm。TZR250よりもさらに大きく設定した1速ギヤレシオと2次減速比により、きわめて幅広いライディングゾーンで、多彩な楽しさを生み出します。

**こ**のエンジンのもうひとつの特徴は、2サイクルでは世界で初めてのマイクログコンピュータ制御・デジタル進角C.D.I点火システムの採用。

これは、ローターの回転速度によってエンジン回転数を検出、それにあわせてマイクログコンピュータが最適な点火タイミングを決定するもの。このマイコンは同時にY.P.V.Sの作動もコントロールしていますので、理想的な点火、排気タイミングが得られ、エンジン性能の向上に大きく寄与しています。



**ストリートとオフロード双方を考慮した車体関係**

**軽**量・高剛性のダブルクレードル・フレーム、38φ大径インナーチューブ採用のフロントフォーク、アルミ製サブタンク付のリンク式モノクロスサスペンション……など、「TDR250」は、車体関係も徹底してストリートとオフロード両方の走行機能の融和をはかっています。もちろんセミエア式フロントフォークは、スプリング・イニシャルとエア圧の、またリヤサスペンションもイニシャル荷重と減衰力のアジャスターを設け、幅広いライディングゾーンでライダーの好みに合わせたクッション性能の確保を可能にしています。

**ブ**レーキにはフロント320φ、リヤ210φの油圧式ディスクブレーキを採用。とくにフロントは、TZR250同様ディスクローターをフローティングマウント。4ポット対向ピストンキャリパーとの組合わせによって強力かつコントロールラブルな制動力を発揮します。

## TDR250仕様諸元

●全長2080mm ●全幅785mm ●全高1215mm ●シート高820mm ●軸間距離1385mm ●最低地上高230mm ●乾燥重量134kg ●舗装平坦路燃費43km/ℓ(50km/h) ●最小回転半径2.4m ●制動停止距離13.5m(50km/h) ●エンジン水冷・2サイクル・クランク室リードバルブ・並列2気筒・249cc ●内径×行程56.4mm×50.0mm ●圧縮比6.4:1 ●最高出力45PS/9500rpm ●最大トルク3.6kg-m/8500rpm ●始動方式キック式 ●オイル容量1.4ℓ ●燃料タンク容量14ℓ ●キャブレターTM28SS ●点火方式CDI(デジタル制御) ●点火プラグBR8ES、BR9ES ●バッテリー容量12V4Ah(10h) ●バッテリー一型式GM4A-3B ●1次減速(比)ギヤ(2.545) ●2次減速(比)チェーン(3.285) ●変速機リターン式6段変速 ●変速比①2.571②1.750③1.315④1.083⑤0.961⑥0.851 ●フレーム鋼管ダブルクレードル ●キャスト27°00' ●トレール114mm ●タイヤ(前)100/90-18 56H(後)120/80-17 61H ●ブレーキ油圧式シングルディスク(前後とも) ●ディスク有効径(前)283mm(後)173mm ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝装置(前)オイルダンパー、エア、コイルスプリング(後)オイルダンパー、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)160mm(後)150mm ●ヘッドランプ12V60W/55W(ハロゲン) ●テールランプ12V5W ●ストップランプ12V21W ●フラッシャーランプ12V23W ●パイロットランプ類12V3.4W



**フ** ロントブレーキには同時にバリアブルタッチシステムも採用しました。これはマスターシリンダーとブレーキホースの間にバルブ機構を設けたもので、これによりオフロードでのソフトなブレーキフィードバック、コントロールな制動力とオンロードでの強力なストップピングパワーをあわせて確保しています。

**幅** 広いライディング・ゾーンに対応してタイヤはグリップ性にすぐれたニューバタインタイヤを装備。ホイールはフロント18インチ、リア17インチのアルミリム付きスポークホイールです。

**ヘッドランプ**はTZR250と同じ12V60W/55Wのハロゲンタイプを装備。フラッシャーランプステアはもちろん、オフロード走行に威力を発揮するフレキシブルタイプです。

**大型**フェアリングは、フレームとフェエルタンクの両方にマウント。ウインドプロテクション効果を高めて高速走行時のライダーの負担を軽減するとともに、ハンドル切れ角40度を確保して、オフロードの走破性を高めています。

**ウ** ーリーナイロン製シートは、ライディングポジションの自由度を高めたロングタイプ。ストリートで、オフロードでソフトな乗り心地を生み出します。

**メ**ーター類は、ユニークなストレートリブル・レイアウト。フェアリング内にインジケータパネルと水温計、ハンドルトップブリッジ前にスピードメーター、さらにフェエルタンク直前に電気式タコメーターを配置しています。これは、ハンドルまわりの慣性モーメント低減を図ったものです。

**14**ℓ容量の余裕あるフェエルタンクとエアブレーションタイプ・フェエルタンクキヤップを装備。

**可** 倒式のフットレス&フットブレーキペダルで万一の転倒時にも安心。

# 60°Vツイン、話題のクォーター・ビラーゴ トラディショナル・クルーザー

# XV250 ビラーゴ 新発売 (1月20日より)

- カラー:メルティングブラック メルティンググリーン
- 標準現金価格:389,000円  
(北海道、沖縄および一部離島を除く)



先の東京モーターショー・ヤマハコナーでTDR250に劣らぬ人気を集めた「XV250ビラーゴ」も、1月20日より新登場します。ビュア・アメリカンXV750、ニューエイジクルーザーXV400につづくビラーゴシリーズの第3弾。新開発のOHC・Vツインを搭載して、トラディショナルなスタイル、テイステイなつくり込みや走行感覚などビラーゴの伝統が、いよいよ250ccクラスに実現したのです。フラットハンドルとフルバックハンドルの2タイプ。どうぞ存分にご堪能ください。なお、ほぼ同時にアメリカでも、「ルート66」の名称で、「XV250ビラーゴ」のイメージづくりが進められています。

## ●XV250ビラーゴのセールスポイント

### 新設計60度、Vツインエンジン

**X** V250ビラーゴのパワーユニットは、新開発のOHC・Vツイン。60度の狭い挟み角、49mm×66mmという超ロングストロークの設定が、トラディショナル・クルーザーならではのゆとりある中低速トルクを發揮します。

**新** 設計のデジタル式フルトランジスタ点火、メインフレーム内部をエア膨張室として

活用した大容量エアクリナー、加速ポンプ装備のダウンドラフトキャブレター……など、このニューエンジンにはかすかすのキメ細かい装備が施されていますが、これらが相まってスロットル・レスポンスや高回転域での伸びも、一段と高められています。

**ビ** ラーゴのスタイリングをきわ立たせているマフラーは、デュアル・テーパードタイプ。2本のエキゾーストパイプをチャンバーにまとめて排気干渉効果を持たせ、同時にマフラーを多段膨張反転構造4層スチールメッシュ貼りとしてすぐれた出力特性と迫力あるVツインサウンドを生み出しています。

### トラディショナルな ビラーゴ・スタイリング

**フ** ラット&ローの流麗なトラディショナルクルーザースタイル。これは軽量・高剛性のダブルクレードルフレームを中心に、テリアドトップ型フェイエルタンク、シングル&タンデムセパレート型シート、130/90-15の小径・極太リヤタイヤなどの調和によってつくり出されるもので、XVビラーゴシリーズに共通したヤマハらしさあふれるフォルムです。

**エ** アクリーナーカバー、ヘッドランプボデー、テーパード・デュアルマフラーなど各部に施したクロームメッキをはじめシリンダヘッドカバーのパフクリヤー仕上げなどによる仕上げの美しさも、そのスタイリングとならぶ「XV250ビラーゴ」の大きなセールスポイントです。

**キ** ヤスター32度、トレール20mmとスタイリングにあわせて傾斜させたフロントフォークには33φインナーチューブを採用して剛性をアップ、リヤのスプリング荷重5段階切替式サスペンションと相まって、すぐれた乗り心地と操縦安定性を生み出しています。

**フ** ローティングタイプキャリア装備の径フロントディスクブレーキ  
**ハ** ンドルはXV400ビラーゴ同様、幅広いユーザーニーズに対応するフラットとフルバックの2タイプ設定です。

**6** 85mmの超低シート高。このセパレートタイプシートを中心につくり出されるゆとりたりのライディング・ポジションも「XV250ビラーゴ」の魅力。またハンドルバーとフットレストはラバーマウントとして振動低減を図っています。

■「XV250ピラーゴ」仕様諸元 ( )内ブルバックハンドル仕様

●全長2190mm ●全幅725mm [800mm] ●全高1045mm [1130mm] ●シート高685mm 軸間距離1490mm  
 ●最低地上高145mm 乾燥重量137kg ●舗装平坦路燃費56km/ℓ (50km/h) ●登坂能力28° ●最小  
 回転半径2.8m ●制動停止距離14m (50km/h) ●エンジン空冷・4サイクル・V型2気筒・24  
 8cc ●内径×行程49.0×66.0mm ●圧縮比10:1 ●最高出力23PS/8000rpm ●最大トルク2.2kg-  
 m/6000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●エンジンオイル容量1.8  
 ℓ ●燃料タンク容量9.5ℓ ●キャブレターBDS26 ●点火方式フルトランジスタ ●点火プラグC5  
 HSA~C7HSA, V16F-U, V20FS-U, V22FS-U ●バッテリー容量12V10Ah (10h) ●バッテリー型式G  
 M10-3A-2 ●1次減速(比)チェーン, ギヤ(3.130) ●2次減速(比)チェーン(2.812) ●変速機 リ  
 ターン式5段変速 ●変速比①2.642 ②1.684 ③1.260 ④1.000 ⑤0.821 ●フレーム鋼管ダブル  
 クレードル ●キャスト32°00' ●トレール120mm ●タイヤ(前)3.00-18-4PR (後)130/90-  
 15 66P ●ブレーキ(前)油圧式ディスク (後)機械式ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック  
 (後)スイングアーム ●緩衝装置オイルダンパー, コイルスプリング(前後とも) ●ホイール  
 トラベル(前)140mm (後)100mm ●ヘッドランプ12V60W/55W (ハロゲン) ●マーカーランプ12  
 V3.4W ●テールランプ12V5W ●ストップランプ12V21W ●フラッシャーランプ12V21W ●パイ  
 ロットランプ類12V 3W



ご声援、ご協力ありがとうございました。

# セロー225と5人の女性たち 中国大陸13,000キロを無事完走

昨年9月、Y.E.S.S. ショップのみなさんからの応援カンパ協力をいただき、『セロー225』とともに中国大陸へと旅立った『女性単車中国親善旅行隊』の5名の女性たちが無事完走を果し、11月30日に帰国しました。



長い旅を終えて大阪南港に着いた女性単車中国親善旅行隊のみなさん。左から西岡由美さん、坂本紀久子さん、原千恵子さん、油谷あけみさん、藤原もゆ子さん。

冒険心あふれる大阪の仲良しレディスライダー、坂本紀久子さん、西岡里美さん、原千恵子さん、藤原もゆ子さん、油谷あけみさんの5名が、憧れの大陸・中国へと旅立ったのは昨年の9月15日。家族や友人など大勢に見送られて神戸港を発ち、2日後に上海へ到着。休憩の間もなく北京へと向かった一行は、11月26日に再び上海の土をふむまで72日間に渡り、『セロー225』とともに中国大陸13000kmの横断ツーリングを行いました。

この大陸横断ツーリングの目的は、オートバイで中国各地を訪問し、現地でごす人たちと友好を深めようというもの。底抜けに明るい彼女たちの性格が現地でも受けて、行く先々でまさに熱烈歓迎で迎えられる、当初の目的も無事達成することができました。

長い旅を終えた彼女たちに現地の感想を伺ったところ

「どこへ行っても本当に大変な歓迎ぶりで、とくに北京の天安門広場から出発するときなんかは何百人もの人に囲まれるというほどでした。とても暖かい人間味あふれる対応を受けて、言葉で語りつくせない大切なものを得たようです」

また、中国大陸の大自然についても、

「砂漠を走っているときに、ずっと右手に壁気楼が見えていたのがとても印象に残っています」と、日本では得ることのできない貴重な体験も数多く積んできたようです。

そして最後に応援してくださいました販売店のみなさんに対して

「中国大陸のどこを走っているときも、自分たち5人だけだと考えたことは一度もありませんでした。日本で応援してくれている販売店のみなさんやヤマハの方、大勢のY.E.S.S.スタッフと一緒に走っているのだという気持でした。そんな気持があったからこそ、無事完走できたんだと思います。数かずの応援、本当にありがとうございました」

# YAMAHA Coordinated Look 1988

## 感謝の気持58通り '88ヤマハ・オリジナル・ノベルティ

高性能をハイセンスで包んだ、'88ヤマハのオリジナル・ノベルティ58点が揃いました。贈って喜ばれる小粋な小物たちを、今年もお客さまとのコミュニケーションづくりにお役立てください。

※ヤマハ・オリジナル・ノベルティについてさらに詳しくは、担当のヤマハマンにお問合せください。全品を紹介したカタログが用意してあります。また、本誌「情報スクランブル」頁でも毎月ご紹介させていただきます。



### ご利用ください、全58アイテム

- BICパイロペン ●BICライター
- セラミックボールペン ●風防ライター ●ペアペアボールペン ●スポーツ・タオル ●スタッフバッグ ●パンダナ ●アクリルキーホルダー ●YA1/DT1 ●浮き輪キーホルダー ●ラウンドオープナーキーホルダー ●ソーイングセット ●YAMAHA ワッペン ●皮キーホルダーⅠ ●皮キーホルダーⅡ ●シェーバーG1 ●ミニチェアー ●ファーストエイドキット ●ペンダントペン ●ツールドキャップ ●サバイバルツール ●ナイロンバース ●ブラックアンブレラ ●マルチツール ●カードラジオ ●アーミーナイフ ●メディカルIDキーホルダー ●デジタルウォッチ ●レジャーシート ●アポロキャップ ●グルーミングセット ●Tシャツ ●ブレイン ●トラベルキット ●パラソル ●キャリングポーチ ●ステーションリーセット ●ギアコンテナ ●フリップ・スティック ●ブリーフケース ●ストップウォッチ ●マイティポケット ●ショルダーザック ●レザーバース ●シャトルタウン ●トラベルクロック ●スピネーカークロック ●ホビースタッフ ●ブリーフバック ●ZIPPOライター ●YA1/DT1 ●トラベルシェーバー ●ディスクタイム ●ハーフトタイムクラブ ●ダイバーウォッチ ●アーミーナイフ ●チャンピオン ●レジャーテーブル・セット ●YAMAHA紙袋 ●YAMAHA包装紙



ライトガード、コンパス、サブタンクの他はノーマルで13000kmを走り切ったセロー225







新商品カラー紹介

**TDR250 XV250**ピラーゴ  
シグナス125 タウンメイト (ニューカラー) ..... 2

セロー225と5人の女性たち  
中国大陸13000キロを無事完走! ..... 7

特集

新走行体験 **TDR250** ..... 10

『88年』★『3000キロ』スタート ..... 15

- 若者たちはいま/人に訊け・街に訊け 高校生の24時間 ..... 19
- 時代を変えた名車たち ヤマハスピリットの原点 YA-1 ..... 22
- 短期集中講座お店のパワーアップ——人づくり・店づくり・客づくり  
従業員さんのパワーアップ ..... 24
- お忙しい販売店さんのための情報アンテナ 情報スクランブル ..... 26
- ニューモデルのお客さま FZ400Rフルフェアリング仕様 ..... 31
- ヤマハSAのご紹介 BIC VOCSシステム ..... 34

- ヤマハ・トピックス ..... 27
- レーシング・エクスプレス ..... 30
- インフォメーション・フロム・ヤマハ ..... 34
- お店訪問・こんにちはヤマハです ..... 36
- パーツ&アクセサリーズ ..... 38
- ザ・レイティスト・アド ..... 40

謹賀  
新年  
本年もよろしく  
お願いいたします

セールス・カレンダー

1月～2月

1月		2月	
1月	睦月	21木	大寒 初大師
2月	5 火	22金	
3月	6 水	23土	
4月	7 木	24●	初地蔵
5月	8 金	25月	初天神
6月	9 土	26火	文化財防火デー
7月	10●	27水	国旗制定記念日
8月	11月	28木	初不動
9月	12火	29金	
10月	13水	30土	
11月	14木	31●	
12月	15●		2月
	16土		如月
	17●	1月	
	18月	2火	
	19火	3水	節分
	20水	4木	立春
		5金	

セールス  
歳時記

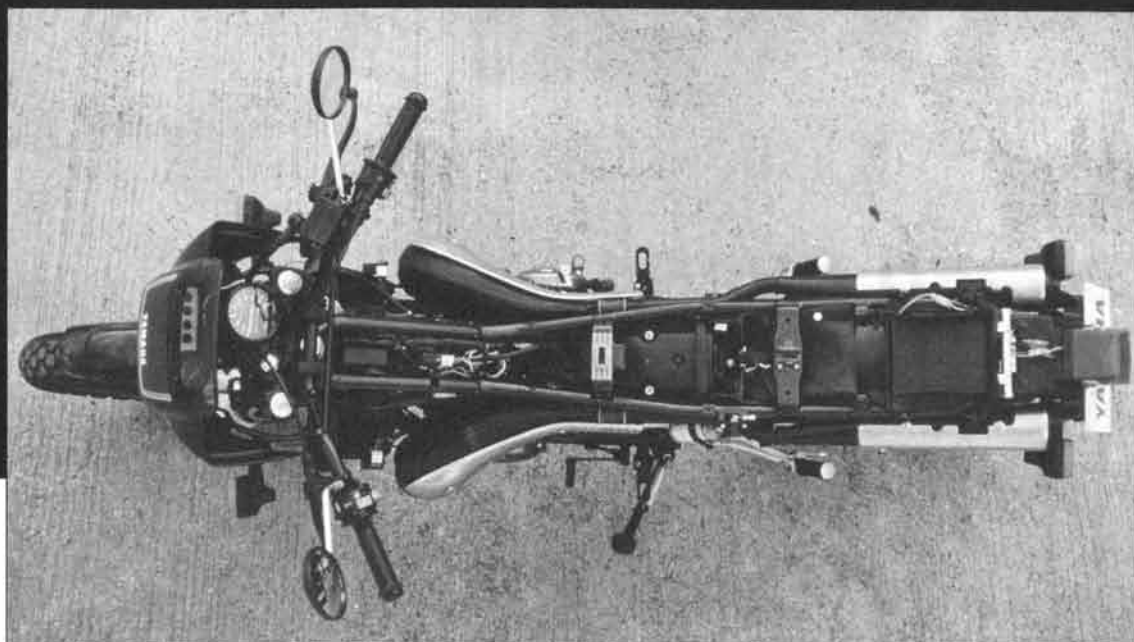


お客様への新年のごあいさつ、おすみでしょう。暮れのうちに出しておいた年賀DMに、もれはありませんか? カレンダーなどの粗品をそえてのごあいさつは、一層よろこばれます。

店頭イベントの素材もこの時期はいっぱい。七草粥、成人の日、豆まき……ちょっとしたアイデアを加えて、お店の新年定例行事にされてみては。賑やかに開催して今年も元気いっぱいな姿をお客さまにアピールしましょう。

## 特集◎新走行体験

# TDR250



第27回東京モーターショーでのデビュー以来、バイクフリークたちの熱い視線を集め続け、にわかに話題沸騰中の『TDR250』が、いよいよこの20日より発売となります。すでにみなさまもご承知のように、このTDR250はオンロードやオフロードといった従来のジャンルでは区分することのできないニューコンセプトマシンです。そこで新年第一弾の特集は、昨年12月7日、8日に伊豆諸島・八丈島で行なわれた二輪専門誌記者対象のTDR250発表試乗会でのデータをもとに、そのコンセプト、マシンづくりをご紹介します。

お客さまへの正確な情報伝達と、  
セールストークにお役立てください。



## 公道で一番楽しいバイク

最近の二輪車市場を見ると、成熟化したといわれながらも、スポーツバイクに限っては愛好者が着実に増えているのが現状です。こんな中ヤマハでは従来人気モデルのさらなる見直しによる成熟化と、一方で新しい市場を開拓する商品開発を行なっています。

前者が成果となっているのがRZ250 ORやDT200Rであるのに対して、TDR250は後者の成果というわけですね。ひと言でこのマシンを表現するならば、TZR250のパワフルなエンジンにオン・オフ両方の走破性をかね備えたバイクどこまで最速で行けるバイク、という新しい価値感を見いだしたいものです。

つまり、走りの機能である走る、曲がる、止まるという3つの基本を道を選ばずに楽しむことができるバイクを作ろうというのが、開発の狙いとなったのです。ただこの目的を達成するためには、一般のライダーが日頃のライディングで出会うことのないライディングゾーン、つまりサーキットとモトクロスコースという両端の部分での走破性を切り捨てるといふ割り切りが必要でした。

TDR250のフィールドは、フアン・ライディングゾーンと呼ばれるもので、ワインディングであり、高速道路や街中、郊外、林道、ダートという日常の走りの中で出会う場所のすべてです。

その結果、舗装路が切れて突然にダートが現われても臆することなく走ってし

## 専門誌ライダーが語る TDR250の魅力と可能性

ここではTDR250試乗会に参加していただいた、二輪専門誌記者ライダーのみなさんの試乗の感想をご紹介します。より実践的なセールストークとして、またお店の拡販策のヒントに、どうぞお役立てください。

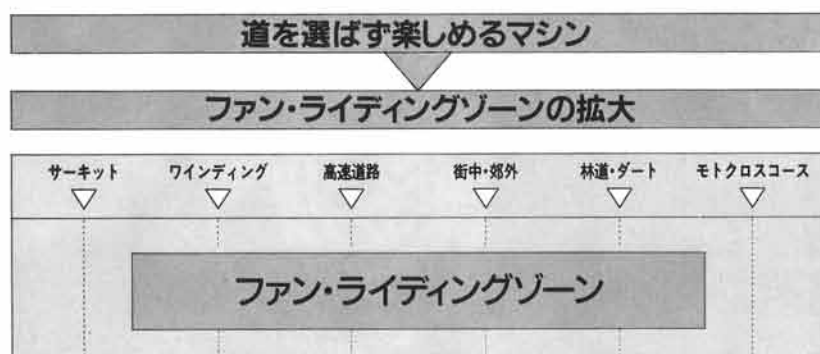
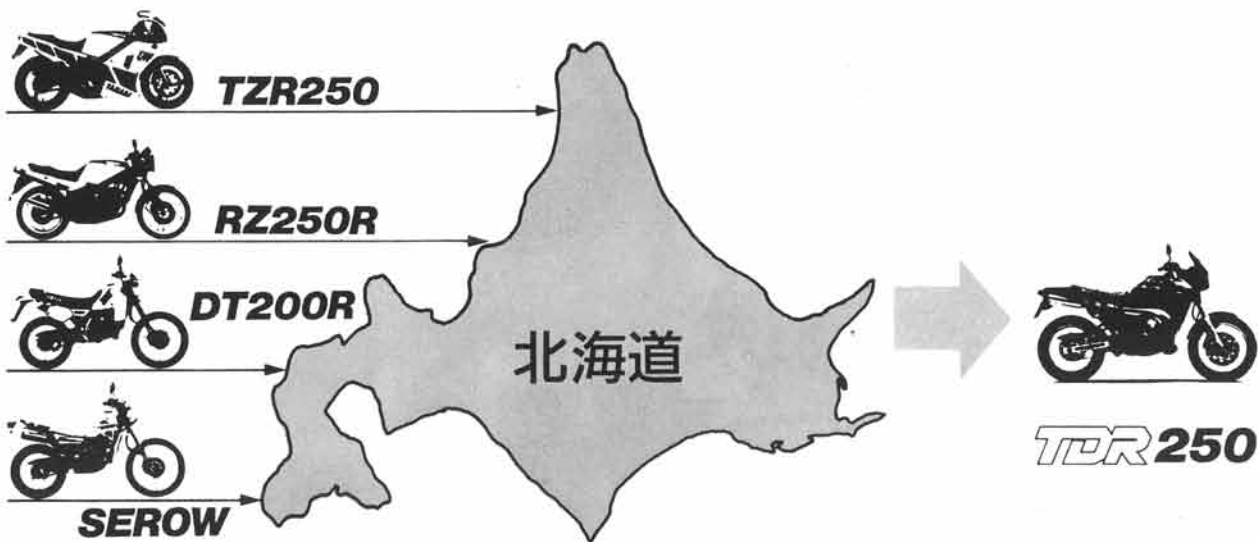
### 街中のプレスライダーに人気が集まるかも！

生見由紀生さん

個人的にも今回の八丈島の試乗会を楽しみにしていたのです。というのは、現在ほくは国際A級F3クラスでTZR250に乗っているのですが、それと同じエンジンを使ったニューコンセプトマシンということで、どんな味つけになっているのか、またどんな新しいバイクライフの世界を広げてくれるのか大変興味を持っていました。試乗の第一印象というのは「街中のプレスライダーにびったり」という感じでした。オンロード250ccに比べて軽い取り回しも楽で、視界も広いからです。エンジンもTZR同様に使



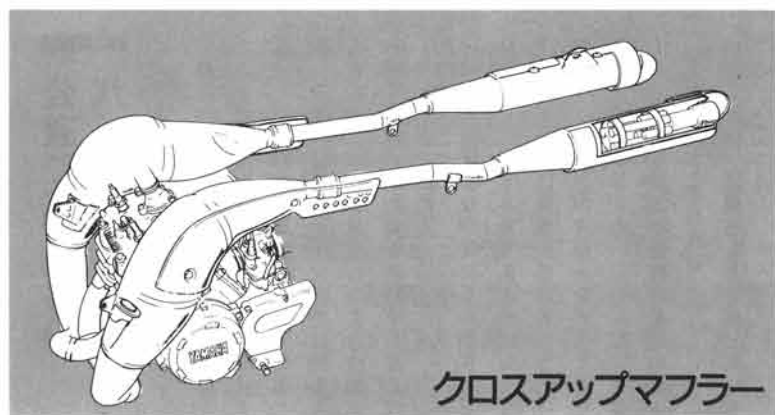
いやすく、トルクがあり中低速が使えて日常の使用には楽しいマシンですね。もちろん初心者にも勧められます。試乗中フロントが重いという声も聞きましたが、それはオフロードモデルと較べた場合のことであって、オンロードモデルと比較した限りでは普通で、何の違和感もありません。またTZRと同じキャリアバーとブレーキパッドを使っていますが、リアアルタタッチプレートのおかげで、オフではソフットにじわっと効くし、オンではハードな効きかたで非常にコントロールしやすかったのが印象的です。サーキットをキッキングに攻めるには向かないし、またモトクロスコースを攻めたりするにも向かないだろうけど、それ以外の部分、フィールドでは非常に楽しいバイクで、オンロードのワインディングなどではTZR以上の走りも期待できるはず。このようなことから、街中のプレスライダーからツーリング派に動めたいバイクですね。



まう、気持ちの余裕が可能性を広げる公道で一番楽しいモーターサイクルとなっています。

開発にあたっては、企画やデザイン、設計、実験などの各担当者が、DT200R、セロー225、RZ250R、TZR250に乗り、ファン・ライディングゾーンが揃っている北海道のツーリングに出掛けました。

ここではDT200Rで高速道路を走ったり、TZR250で林道を走ったりと、そのマシンの持つ本来の走り方とは異った走行体験をし、その体験を楽しさに変える形としてTDR250の設計はスタートしたのです。



クロスアップマフラー

さて、ここまでの説明で開発の意図がご理解いただけただけでしょうか。次はこのコンセプトを具体化するために、どのような技術が盛り込まれているのか見てみましょう。

すべての道を楽しく走るモーターサイクルを作るといっても、現実的にはオンロードモデルをベースとするか、オフロードモデルをベースとするか、2通りの選択がありました。

まずハイスピード走行での操安性、接

## オンロードモデルがベース

## ロングツーリングに最適 (ガルル) 吉原朋正さん

ヤマハらしいバイクだなと思います。説明会でもありましたが、新しい市場を作り出すエポックメイキングマシンを出すのは、やはりヤマハだということですね。

試乗を終了しての感想は、TZRより安定感があるように思いました。

ハンドル幅が広く、上体を立てて走れるので今までのレブリカと違って楽で疲れないライディングを保証してくれます。

また2人乗りをしても後に乗車する人と同じ姿勢が保てるので、運転も楽です。

このようなことから、TDR250は「ロングツーリング最適バイク」ですね。

走りの面でもTZR250と同じ45馬力のエンジンを使っていることから高速も快適で、たとえば、今までオフを楽しむ場合でも、林道へ行くまで高速に乗っても加速性能や最高速がないため、着くまでに疲れてしまっているなんてことも結構あるんですが、それが解消できます。

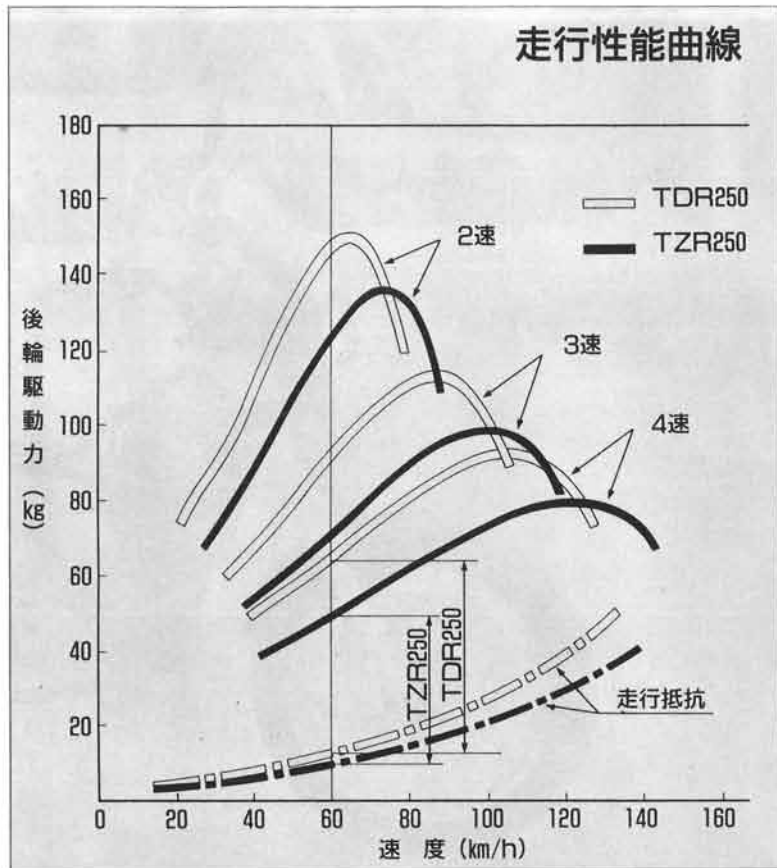
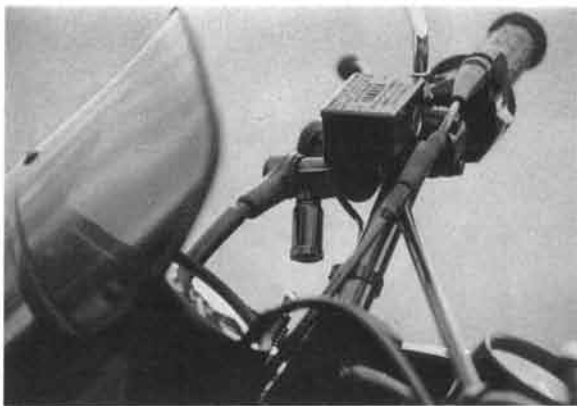
またオンロードツーリングでも今まで地図を広げて計画をねるところでは、どうしても未舗装路を避けていたのですが、TDRでは、それを走れるため、新しいルートが作れるし、もつと遠くへ行こうという気持ちにさせてくれるのです。

自分自身もお店を持っているわけですが、ターゲットユーザーとしては、どちらかというとあまりスロットルを開けないで走るベテランライダーに勧めたいですね。

いつも仕事に追われて忙しい人が、またまった休みが取れた時に、思う存分走る。またロングツーリングに出て美しい景色に出会い、心の中をリフレッシュする、そんな使われ方って素晴らしいと思いませんか。



# 新走行体験 TDR250



地感をオンロードマシン並みのレベルにし、エンジンの吹き上がり感やなめらかさを楽しきに加えたい、という意図からベースはオンロードモデルとし、パワーストースはTZR250のエンジンを選択しました。

このエンジンは2次減速比を大きくすることによって、170km/hから180km/hでの走行を可能にしながら、TZR250と比較して同一車速の場合、駆動力、加速性を高めるとい味つけが施されています。

また、オフロードで必要とされる最低地上高を確保しながら、性能を落さずライディングを疎外しないという理由からクロスアップマフラーを採用しています。車体関係では、メインフレームのパイプ径を通常のこのクラスのものに比べてワンサイズ大きくし、さらにタンクレール部の幅をつめテンションパイプを追加することによって剛性バランスをとり、これらの材料にハイテク材である高張力鋼管を使うことによって強度的にも余裕を持たせています。

そして新開発のバリアブルタッチブレーキは、オンロードではダイレクト感を持つハードなタッチ、オフロードではデリケートな操作のできるソフトなタッチという異なる要求を同時に解決しています。

この他にもサスペンションはフロントにイニシャル調整とエアバルブが、リアにはイニシャル調整と減衰力調整が設けられています。平均的ライダーが走るライディングゾーンではノーマルセッティングで十分カバーできる高い性能を持っています。

モーターショーで見た時には、すごいモンスターマシンが出てきたな、威圧感のあるバイクだな、と思っていましたが、わりとすんなりフラットな感じで乗れてしまったのは驚きました。

TZRのように急に立ち上るという特性ではなく、ピーキーさを忘れさせるような、TZRのエンジンでありながらマイルドな仕上がりになっているのです。

同じエンジンでも味つけを変えることができるものなのかって、ヤマハの技術に感心しました。

全体的な乗り心地をみると、ソフトな足まわりで、車で例えるならアメ車のキャデラックのような印象を受けましたね。

オン、オフの両方が楽しめるとはいってもやはり、マシン作りからみると7/8割でオンロードバイクだと思えます。

ただ、走っていたアスファルトロードが急にダートに変わった時も、ライダー自身があせらずに、ライディングの切り変えが楽にできる。そんな快適バイクであることは確かですね。

想定ユーザーもバラエティーに豊んでいると言えるでしょう。

オフが嫌いなオンロードユーザーもオンが嫌いなオフロードユーザーも、このTDR250はチョイスできるし、そして乗ることによって今まで嫌っていたオフやオンの世界にも広がることのできるというものです。



あと他人の目をすくく気にするユーザーにも魅力ある1台であるはずですよ。

これは目立ちたがり屋という以外に、限定解除をしていないが、

### TZRより扱い易いエンジン (オートバイ)

加藤栄重さん

モーターショーで見た時には、すごいモンスターマシンが出てきたな、威圧感のあるバイクだな、と思っていましたが、わりとすんなりフラットな感じで乗れてしまったのは驚きました。

TZRのように急に立ち上るという特性ではなく、ピーキーさを忘れさせるような、TZRのエンジンでありながらマイルドな仕上がりになっているのです。

同じエンジンでも味つけを変えることができるものなのかって、ヤマハの技術に感心しました。

全体的な乗り心地をみると、ソフトな足まわりで、車で例えるならアメ車のキャデラックのような印象を受けましたね。

オン、オフの両方が楽しめるとはいってもやはり、マシン作りからみると7/8割でオンロードバイクだと思えます。

ただ、走っていたアスファルトロードが急にダートに変わった時も、ライダー自身があせらずに、ライディングの切り変えが楽にできる。そんな快適バイクであることは確かですね。

想定ユーザーもバラエティーに豊んでいると言えるでしょう。

オフが嫌いなオンロードユーザーもオンが嫌いなオフロードユーザーも、このTDR250はチョイスできるし、そして乗ることによって今まで嫌っていたオフやオンの世界にも広がることのできるというものです。

これは目立ちたがり屋という以外に、限定解除をしていないが、



みんなに一目置かれるバイクというのが現在では無くなってきているからです。



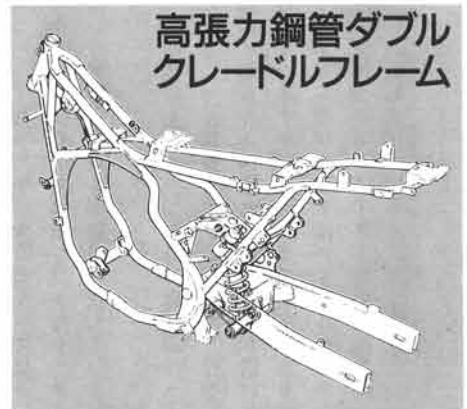
### 魅力充分、 広がる可能性

かなり簡略化したものですが、以上のような開発を経て、TDR250は今までに新しいジャンルを切り拓くマシンとして完成しました。

オフロードではノンビリとしたツーリング走行からエンジン回転を上げてのパワー走行までを可能とし、また一般公道やハイウェイでもパワー不足や不快な振動による不当な疲れを感じさせない快適性を持ち、さらに街中でも軽い取り回しや足つき性、見通しのきくライディングポジション、出足の良さなどにより、十分な機動力を発揮するという、複合価値を有するものとなりました。

TDR250は新しい遊びを求めるユーザー、既存のオンロードモデル、オフロードモデルに飽きてしまった人たち、そしてロングツーリング派など、幅広い層のお客さまを対象にできるエポックメイキングモデルです。

そして販売店のみなさんの遊ばせ方、売り方によっては、さらに多くの可能性が生まれるオートバイなのです。



高張力鋼管ダブル  
クレードルフレーム

リーンウィズで  
峠道をスイスイと走れる  
柏秀樹さん

まず45馬力というのは、実はすごいパワーであることを言いたいですね。

現在45馬力のレーサーレプリカを一般ユーザーが扱えるのも、高剛性フレームとハイグリップタイヤ、そして良いブレーキのおかげなので、普通ではなかなか扱いきれないものです。

例えば、YZに普通のロード用タイヤを装着させてワインディングを攻めても速いどころか、フロントが浮いてしまいかえって危険です。

そのようなことから、TZRのエンジンをベースに、オンとかオフとかいった従来のカテゴリにこだわることなく新しいモデルを創り出した技術は大変なものだと思います。TZRのエンジンをベースに2次減速比を大きくしているため、スピードのノリが、TZR以上によく気持ちのいい加速感を味わえましたね。

またポジションも楽で、足まわりもいため無理にハンクオンしなくてもリーンウィズで峠道をスイスイ走れてしまうコントロール性のいいバイクに仕上がっていると感じました。また外観も迫力があっていいですね。イタズラに安っぽくなく、タンクとクロスアッパマフラーのポリウム感がその迫力を出しているし、それに加えて大型のフロントディスクが一層それを強調しているからです。

このTDR250を乗りこなすうえでは、オフを走るために生まれたバイクととらえるよりは、オンロードをメインに作り込まれたものであって、イザという時オフが走れるという具合に考えた方がいいでしょうね。

ですから北海道ツーリングなんかはやっぱリビッターとはまるバイクです。

若い人よりは、4サイクル、2サイクル、またはマルチ、単気筒などひと通り乗ったことのある腕に余裕のあるライダーが、男の野性味を出す、演出するバイクとして選ばれるのじゃないか

と思います。

ですからク  
ォーターバイ  
クでありなが  
ら、750の  
ユーザーも魅  
力を感じざる  
をえないバイ  
クですね。





夢とロマン、そして冒険心。  
**'88チャレンジ3000キロ**

# いよいよスタート

## 今年もご活用よろしく申し上げます



お客さまに走ることの明確な目的を与え、乗車機会を増大させながら、日頃のバイクライフがそのままイベント参加につながるというYESの画期的メニュー、チャレンジ3000キロ。おかげさまで昨年は予想以上の参加者を集めることができました。そして前号でもご案内のとおり、今年もこのキャンペーンはYESのメインイベントとして継続開催されています。

お客さまの満足度をさらに高めるために、ツーリングライセン্সアップシステムの新設やエントリー特典の見直しを図り、より充実した'88チャレンジ3000キロ、豊富なパリエーションが揃ったバックアップメニューとともに、今年もお店の活動として積極的にご活用ください。

Y.E.S.S.イベント・スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Y.E.S.S. イベント	'88チャレンジ3000キロ												
	モニターツーリング in 沖縄						JETツーリング in 北海道		阿波踊り ツアー		JETツーリング in 九州		
	スノモ&スキーツアー ●(9, 15, 24日) チャンピオンシップカーニバル							●チャレンジ3000キロミーティング		●サマーフェスティバル		●オールディズバイクミーティング	
	りんごの木オーナーキャンペーン							フォトコンテスト スタンプラリー					
YES STATION 開設予定			RR①②	RR③⑤ MX②③	RR⑥⑦	RR⑧③	RR⑨ 8H耐久 MX⑦	RR⑫	MX⑨	RR⑬⑭⑤ スーパースプリント MX⑩		TR⑪	
モータースポーツ	ロードレース		●(12, 13日) ①BIG 2&4 ②<鈴鹿> ●(26, 27日) ②世界選手権 ③<鈴鹿>	●(9, 10日) ①<筑波> ●(22, 24日) ④<鈴鹿>	●(14, 15日) ⑥TT-F1 ⑦<SUGO> ●(28, 29日) ⑦<筑波> ●30日, 5月1日 ⑤<西日本>	●(10, 12日) ⑧<鈴鹿> ●(25, 26日) ⑨<筑波>	●(16, 17日) ⑩<SUGO> ●(30, 31日) 8H耐久 ⑧<鈴鹿>	●(13, 14日) ⑪<西仙台> ●(27, 28日) ⑬スーパースプリント ⑬<SUGO>	●(9, 11日) ⑬<鈴鹿>	●(8, 9日) ⑭TB0ビッグロード ⑭<SUGO> ●(22, 23日) スーパースプリント<富士> ●(29, 30日) ⑮MFJダンプリ ⑮<筑波>		●(8, 9日) ⑮日本GP ⑮<鈴鹿>	
	モトクロス		●(19, 20日) ①<中国>	●(2, 3日) ②<関東> ●(15, 17日) ③<九州>	●(7, 8日) ④<鈴鹿> ●(21, 22日) ⑤<西国>	●(4, 5日) ⑥<SUGO>	●(9, 10日) ⑦<北海道>	●(20, 21日) ⑧<東北>	●(3, 4日) ⑨<近畿>	●(17, 18日) ⑩<中部>		●(6日) ⑯日本GP ⑯<富ヶ瀬>	
	トライアル			●(10日) ①<西国>	●(15日) ③<九州>	●(24日) ②<中国>	●(29日) ④<中部>		●(7日) ⑤<北海道>	●(4日) ⑥<東北>	●(9日) ⑦<近畿>	●(28日) ⑧<中部>	

## '88の新システムとは

前年度の実績をふまえ、基本システムに大幅な変更はありませんが、より多くのお客さまの参加を期待して、次のようなシステムとしました。

まず左の表をこらんで下さい。'88チャレンジ3000キロでは、3000キロを1単位として、走行距離によりライセンス証を発行する「ツーリングライセンスアップシステム」を新設しました。ユザーに一定の目標を与えるために設定した3000キロという数字ですが、'87年度の実績では、3000キロを走破し、再度エントリーされるお客さまも多数見受けられました。こうしたお客さまをフォローする意味でも、また、3000キロ完走後は、ほとんど来店しなくなってしまうお客さまにさらなる来店機会を与える意味でも、有効なシステムとなっています。

### ■実践的な活用方法

新システムでは、新規エントリーのお客さまは最初の3000キロを完走した時点でツーリングライセンス・ノービスの発給を受けます。'87年末完走者についてもこれと同じ扱いとなりますが、'87年の完走者で継続してY.E.S.S.スタッフのお客さまについては、Y.E.S.S.本部より自動的にツーリングライセンス・ノービスが与えられ、ライセンスカードが送られます。したがって'87年完走者はジュニアへのチャレンジとなり、新システムへ継続的に参加をうながす大きな魅力となります。

また、新規エントリー者にしても、完

'88  
Challenge  
3000km  
エントリー受付中!

Y.E.S.S.  
YAMAHA ENERGY SPORTS CLUB

走に対する賞典が記念品という有形なものだけでなく、ステイタスをくすぐる「ライセンスカードの所持」が目標となるため、つぎのランクへのステップアップの意欲を高め、さらにお客さま同志の競争意識をも高め乗車機会を増やすという効果もあります。

そして、ここでもうひとつ念頭に置いていただきたいのが、このチャレンジ3000キロキャンペーンは、エントリー者を数多く集めることが最終目的ではないということです。Y.E.S.S.活動に参加されるお客さまが固定客として成長し、また本部の広報活動やロコミにより、Y.E.S.S.イベントに興味を持つ新しいお客さまの開拓があつてこそ、初めて本来の意味を持つこととなります。

おかげさまで'87チャレンジ3000キロは、予想を上回る成果を上げることができました。'87同様に、今年もY.E.S.S.活動のベースとなるイベントが「'88チャレンジ3000キロ」です。実販に結びつけるためのY.E.S.S.活動ですから、上手に利用し、より一層のお店の飛躍のためにご活用ください。

※'88チャレンジ3000キロの詳細につきましては「'88チャレンジ3000キロ・マニュアル」をご覧ください。

'88 Challenge 3000km  
エントリー受付中!

## '88チャレンジ3000キロ基本システム

### ■エントリー資格

- Y.E.S.S.スタッフ(同時入会OK)
- エントリー車種、メーカー名不問
- 免許証のある人
- 安全運転宣言

### ■エントリー費

- Y.E.S.S.スタッフ——1,000円
- それ以外の人——3,000円(Y.E.S.S.入会費を含む)

### ■実施期間

- 1988年1月1日～12月31日

### ■エントリー特典

- エントリー時——エントリーステッカー、エントリーワッペン、チャレンジバスポート
- 1000キロ走破時——1000キロ走破ステッカー
- 2000キロ走破時——2000キロ走破ステッカー
- 3000キロ走破時——3000キロ走破ステッカー、完走特典(各ライセンスにより異なる)

### ■応援DM

- エントリー申込後、Y.E.S.S.本部事務局より、エントリースタッフのもとに直接郵送されます。

## '88チャレンジ3000キロツーリングライセンスアップシステム

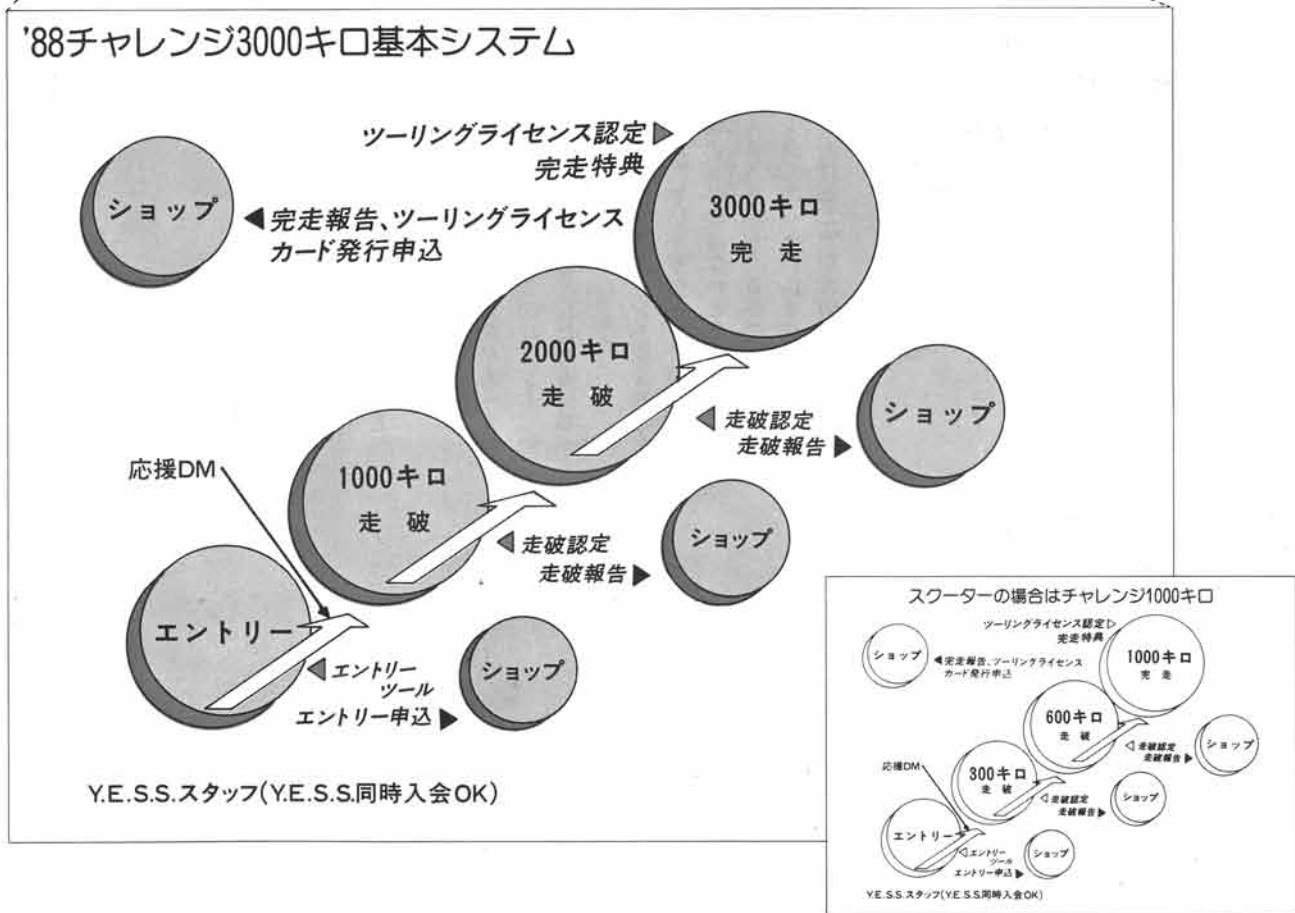
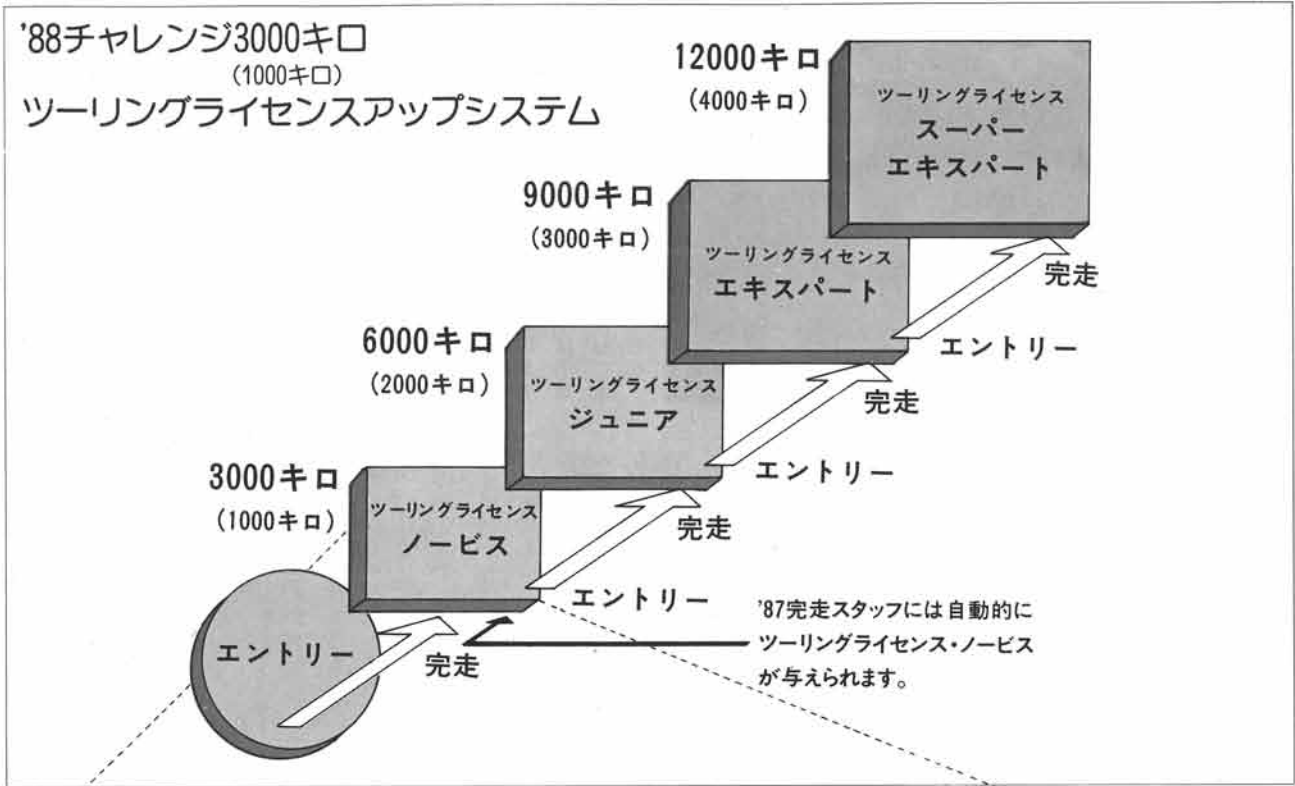
### ■システム注意点

- 次のライセンスにチャレンジする場合には、今のライセンスを確認の上、必ず再エントリーとし、申込書の記入、エントリー費の徴収をして下さい。
- '87完走スタッフには、Y.E.S.S.本部より自動的にライセンスカード・ノービスが送られますので、ツーリングライセンス・ジュニアへのチャレンジとなります。(対象:'87年末時点でY.E.S.S.スタッフである人のみ)

### ■完走特典

スポーツ	3000キロ完走	6000キロ完走	9000キロ完走	12000キロ完走
スクーター	(1000キロ完走)	(2000キロ完走)	(3000キロ完走)	(4000キロ完走)
ツーリングライセンス	ノービス	ジュニア	エキスパート	スーパーエキスパート
Y. E. S. S. ショップより	・完走トレーナー ・ツーリングライセンスステッカー	・完走トレーナー ・ツーリングライセンスステッカー	・特別記念品 ・ツーリングライセンスステッカー	・特別記念品 ・ツーリングライセンスステッカー
Y. E. S. S. 本部より	ツーリングライセンスカード・ノービス	ツーリングライセンスカード・ジュニア	ツーリングライセンスカード・エキスパート	ツーリングライセンスカード・スーパーエキスパート
W A Y	完走スタッフ全員の名前を特別掲載			





# 用意されたYESSYイベントを 個性に合わせてアレンジ

**YSP 高飾**

鈴木光雄社長／東京都葛飾区

「’88チャレンジ3000キロのステップアップ・ライセンス・システムですが、これはウチのオリジナルとして採用するつもりでしたんですよ。メーカーでやってもらえると非常に助かりますね」

と言うのは、YESSSスタッフ159名を有する「YSP高飾」さんの鈴木社長。東京、環状7号線沿いに位置するお店の中は、YESSSスタッフで溢れています。年齢層は幅広く、最年少スタッフは1歳（馴染みのスタッフのお子さま）から、上は50歳代後半まで。

「一緒に本気で遊んでくれるスタッフばかりで、本当に助かってます。特典を有効に使っていますから、入会して良かったと思ってくれているはずですよ。入会しても全くイベントなどに参加しなくて、ユーザー組織の意味はないですからね。そういうお客さんには積極的に更新をすすめたりはしません。かえって負担になるでしょうし……」

つまりスタッフの159名は、みなさん有意義に特典を活用し、またイベントなどへも積極的に参加される方の実数といえるのです。

## トレーナーだけでなく 独自の賞典を設定

「お客さんの来店機会が増えれば、実売に結びつかないわけがないんです。だから問題は、どうやってお客さんの足を店に向けるかですよ。ウチの場合、競争意識を持ってもらうために、チャレンジ3000キロ用のグラフを写真入りで貼り出したりしています。グラフ記入のための来店、ライバルとの差を確認するための来店、これだけで半年に一度しか顔を見せないお客さんが、一カ月に一度は来てくれるようになりますね」

これもお店なりのアレンジと言えるでしょう。他にも最多距離賞、区間賞等オリジナルの賞典を設定したり、年末には



写真入りのエントリーリストも話題づくりにひと役

ホテルの広間を借りて表彰式を開いたり、精力的に活動しています。

「メーカーが用意してくれるイベントは、そのまま使っても十分に効果がありますが、店の個性に合わせてアレンジし、独自のイベントとして成り立たせる必要がありますね」

よく「YESSSのイベントを全部こなすのは無理」という方がいますが、すべてに参加する必要はないと思うんです。たくさんある中から、自分のところに合うものを選んで、それにオリジナルティを加えてあげることが大切なんです」

## ファミリー的な付き合いで 更新率はほぼ100%

12月12日現在で、大半の更新は終了。鈴木社長によれば、更新率はほぼ100%になるということです。

スタッフ管理に使うボードはカウンタ―横に掲げられ、お客さまの目につくように配慮されています。更新が済んだお客さまと未更新のお客さまをピンの色で分け、また3000キロ完走者には日の丸をつけるなどの工夫も見られます。「チャレンジ3000キロが始まって、

お店の中はいつも若い熱気でいっぱい。左端YESSSジャンパーのお2人が鈴木社長ご夫妻



完走スタッフが来店するまでは、賞品のトレーナーは名前を書いて店内に展示



スタッフボードを最大利用、ピンの色によってスタッフの管理をし、さらに日の丸印により3000キロ完走者の区別もできる

通勤の足としてバイクを使っていたお客さんが、ヒマを見てはツーリングに出かけるようになりました。このような人は、店で行う他のイベントにも積極的になりますね。’88年もこの勢いで頑張ります」

## 人に訊け、街に訊け、 若者たちは、いま……

### 高校生の24時間

### 多彩な遊びのスタイル でも勉強もしっかり

鋭い感性と行動力で、しばしば時代感覚をリードする高校生。彼らは二輪車の有力な顧客層でもあり、その生活や行動のしかたなどは、これからの経営を考える上で欠かせない要素です。

そこで、2人の実例と最近の調査から高校生の24時間を追ってみました。実例以外のグラフはすべて福武書店教育研究所発行『モノグラフ・高校生87 Vol.21若者文化』より。

#### 林早苗さん

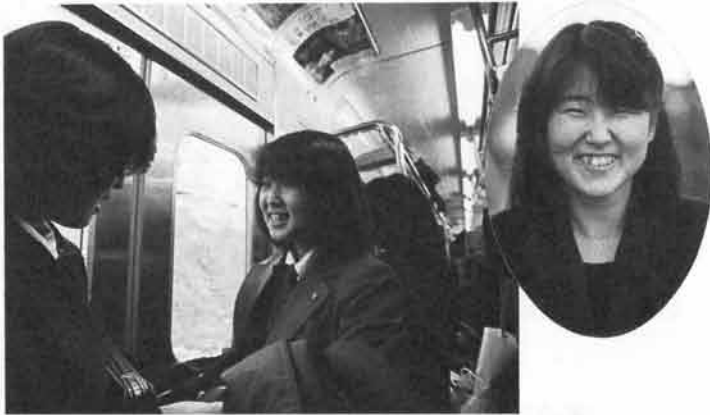
明治大学付属中野八王子高校2年生

毎朝5時に起きます。そして自分で風呂をわかつて入ります。朝入浴するようになったのは中一のころから。最初は『カゼをひく』とか『不経済だ』とか言っていた母も、今は何も言いません。

部活(テニス)をして、家に着くのは7時すぎ、月曜と土曜以外は塾と個人教授に通っているの、また家を出て、帰ってくるのは10時くらいになります。

疲れているのでバツとお風呂に入って寝ます。髪なんてグジャグジャのまま。

遊びに行くのは原宿や渋谷。最近は大官山も好き。この間、友だちに誕生日のお祝いしてもらいました。代官山のすぐおしゃやれな店で。カクテルとオードブルとスバゲティで、1800円くらいかな。楽しかったです。



**清水寛さん**  
自由学園高等科2年

起きるのは早いときで6時半。その時間に起きているのは僕だけなので、みそ汁をあたたためたりして朝食をとります。いつも3食しっかり。『そんなに食べてよく太らないな』っていわれま

す。

クラブはやってないので、4時半には一度家へ帰り、たいていオートバイで出かれます。最近大型免許をとりました。XJ750に乗ってるんですよ。10時くらいまで勉強しますが、雑誌を読んだりして他のことをしてる時間のほうが長い。テレビはほとんど見ません。その代りラジオをかけっ放し。音楽番組が多いのでFM横浜を聞いています。

友だちはたくさんいるけど、一緒にワイワイやるのは好きじゃないな。それに飲食代でお金を使いたくないので、そういうところはへは行きません。



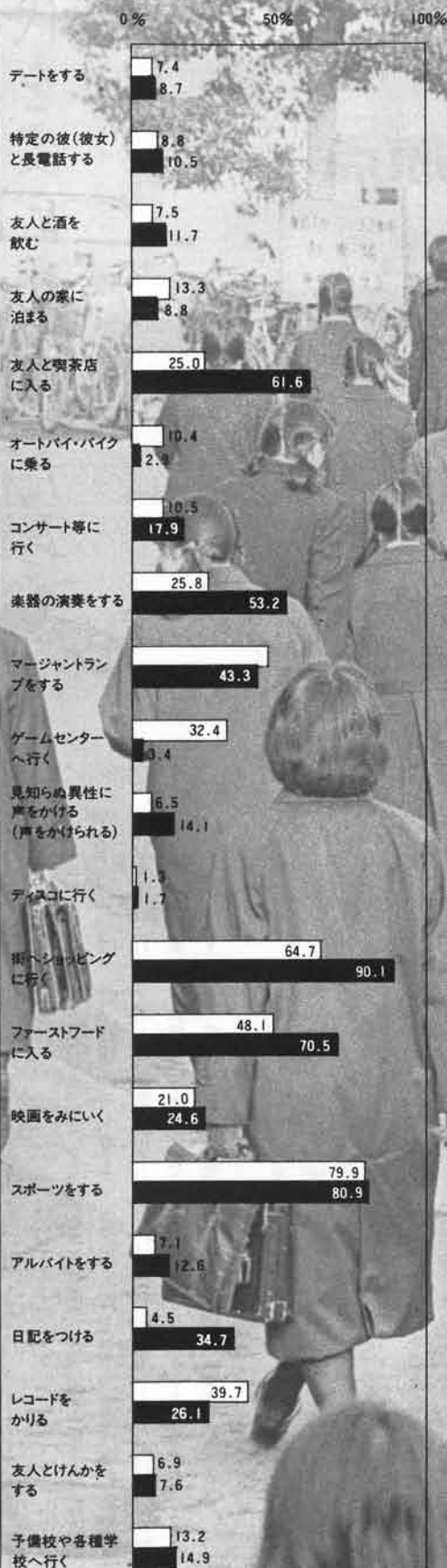
林早苗さんの1日	清水寛さんの1日
起床・入浴(30分)	5:00
朝食 ドライバー・身じたく	6:00
家を出る	7:00
学校到着・始業	7:00
終業	8:00
部活	8:00
学校を出る (冬5:40 夏6:10)	9:00
家に着く→食事	9:00
※英語個人教授 (木・金) 塾	10:00
(火・土)家庭教師	10:00
帰宅→入浴	10:00
就寝	11:00
	12:00

清水寛さんの1日詳細:  
 起床→朝食→身じたく  
 家を出る  
 学校到着  
 礼拝 (キリスト教系のため)  
 始業  
 3:00 終業  
 学校を出る  
 家に着く  
 オートバイで外へ  
 自宅で勉強  
 夕食  
 自宅で勉強 (オートバイで出かけることも)  
 入浴(30-40分)  
 就寝



## 最近1ヶ月にしたこと (高校生男・女)

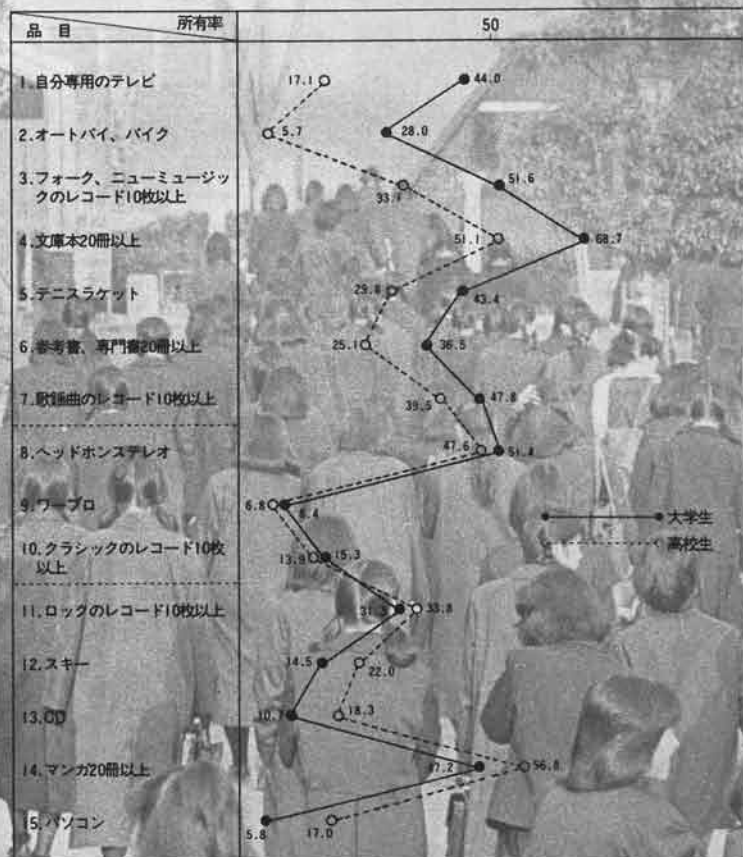
□ = 男子  
■ = 女子



## 高校生が最近1ヶ月にしたことを男女で比べてみる

## 持っているもの(高校生と大学生)

(%)



(持っている割合)

## 高校生の持ち物を大学生と比べてみる

高校生と大学生の持ち物を比べると、ロックのレコードやCD、マンガ、パソコンは高校生のほうが持っている率が高いようです。

(洋服) シンプルなものが好き。コムデギャルソン、ワイズ、ビギ、フィフスク

(林早苗さん)

1カ月の間にしたこと、男女で比べてみました。喫茶店や楽器の演奏、ショッピングなどで女子の体験が男子を上回っています。

(音楽) ● ディスコ曲やユーロビートが好き。エレクトーンやピアノを弾いています。今はドラマをやっています。(林早苗さん) ● ニューミュージックやジャズ

が好み、ときには自分でもやってみようと思います。(清水寛さん)

(ファーストフード) 友だちと試験勉強をするときは静かめのファーストフードの店を利用します。(林早苗さん)

(スポーツ) ● 小学校は水泳。バタフライで1km、クロールなら何kmでも。中学はバレーボール。私おてんばなんです。(林早苗さん) ● オートバイに乗る前は、自転車にのっていました。(清水寛さん)

## ヤマハ・スピリットの原点 YA-1



軽量・スリム、そして細部まで徹底した卓越の造形美と仕上げ。ヤマハ初のモーターサイクルYA-1は、現代にも求められる、こんな要素をしっかりと持ってデビューし、当時の二輪業界に旋風を巻き起した。以来、ヤマハのオートバイづくりはYA-1のスピリットを原点として、現在に至っている。

YA-1は1955年に、ヤマハが「ヤマハ発動機」として日本楽器から分割される直前にデビューした。デビューと同時にその年の第3回富士登山オートバイレースに出場。並いる強豪たちを相手に上位を独占。続く浅間火山レース（第一回）でも圧勝して話題をさらった。

YA-1はシングルクレードル型パイプフレームに空冷2ストローク単気筒123ccのエンジンを搭載。最高出力5.6PS/5,000rpm、ギヤはリターン式4段変速。サスペンションはフロントにテレスコピックオレオサス、リヤにはプランジャリー式をセット。ホイールは前後19インチ。最高速度80km/h。乾燥重量94kgというスペックを持っていた。

デビュー早々に2つものビッグイベントに参加して、強豪を相手に上位を独占できた理由は何であったか。まず第一に軽量であったこと。モーターサイクルは軽くなければならない、という大切な要素にヤマハは最初からこだわった。どんなにエンジンやサスペンションが魅力的でも軽量性があってこそ、それらは活かされることをヤマハは知っていた。

第2にエンジンを含めて絶大なる信頼性こそ、もつとも価値あることであり、レースにとっても欠くことのできない要素としたことだ。軽量でシンプルな2ストローク単気筒の採用もそのためであった。

このYA-1のベースとなったのは、数多くのコピー車を生ませたドイツのDKW・R



# 従業員さんのパワーアップ編(前編)

現在の日本を表わす言葉に「金あまり現象」というのがあります。地価や物価の高騰により、一般庶民の生活はあまり向上したようには思えませんが、高級車が飛ぶように売れたり、財テクブームが起きたりという最近の日本を見てみると、確かにお金はあまっているようです。

こうした背景の中、二輪車市場に限らずお客さまの「物」に対するニーズは量から質へと変り、それに従ってお店も単なる品揃えだけでなく、店舗から中での働

## スタッフの充実は まずお店の態度づくりから

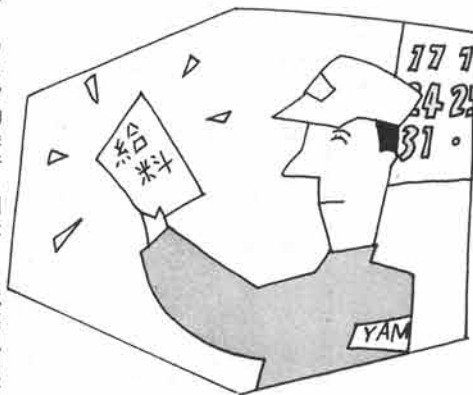
お客さまはオートバイに限らず、すべての商品を購入する際に店を選んでいきます。若い人が就職をする場合も、同じように就職先を選びます。とくに優秀な人材ほど、ハッキリとした自己主張のもとに厳しい目で選ぶはずで

くスタッフにいたるまでより以上の「質」の向上が求められています。

お客さまが求めるこの新しい芽に対応していくために、今年一年このコーナーでは「人づくり・店づくり・客づくり」の3つの分野から、今もつとも求められている4つのテーマを選び、販売店のみなさんとともに学習していきたいと思えます。最初のテーマは、お店のスタッフのパワーアップ。今回は若いスタッフを育てるためのお店の態勢づくりからはじめます。

優秀なスタッフを確保する、または育てるには、お客さまに選ばれるお店となるのと同じように、人材にも選ばれるお店になる必要があります。

それでは若い人たちが就職先を決定するときの基準となるものは?——その



ひとつに労働条件を明示した就業規則があります。法律では従業員数10名以上の事業所では必ず作らなくてはならないもので、それ以下の従業員数の事業所では作成の義務はありませんが、合理的な価値判断をする若者たちが就業先を選ぶ大きな基準となるものだけに、ぜひお店でも整えておきたいものです。

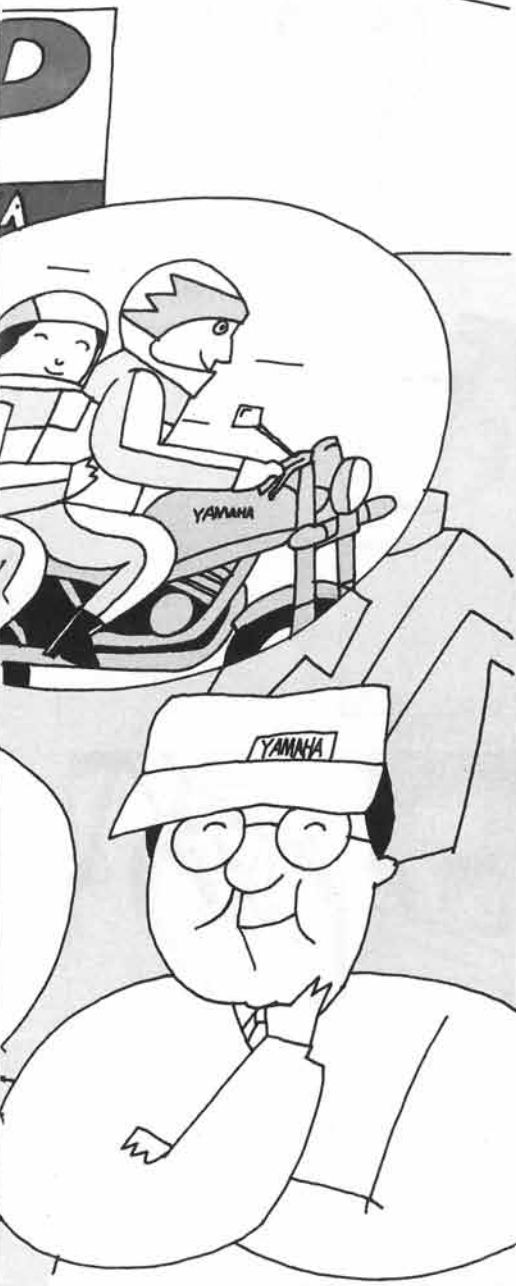
労働条件は働く人たちにとっては、大切な問題です。後のトラブルを防ぐためにも、就職時のお店の信用を得るためにも、重要な項目を明文化しておくべきでしょう。

### 《就業規則の内容》

本来は労働に対する重要事項はすべて記載されていた方がよいと思いますが、小規模なお店ではそこまでしなくても良いでしょう。しかし、最低限次のような項目については文章化しておきましょう。

① 給与 初任給、昇給の時の査定のみかたや昇給の大まかな割合などの給与規定と、時間外の残業手当等の手当金についても決めておきます。

② 休日・休暇 労働基準法では一週一回の休日を与えることが義務づけられて







います。この他に夏期・冬期の休暇もはつきりさせておきましょう。

③労働時間と休暇時間 仕事の忙しさによって決めづらいことですが、始業時間と終業時間ぐらいは決めておきましょう。これも労働基準法で定められています。

④退職 就職した人が将来のことを考えると、これも重要な事項です。退職時の条件の他、解雇はどのようなときにされるのか、なども明文化しておきましょう。

⑤福利・厚生 退職金などもこの中に入ります。この他に社会保険、健康維持のための余暇や災害時の補償などが含まれます。

## 《どうやって作るか》

就業規定の作り方については、労働基準監督署や商工会、商工会議所などに相談すれば、具体的なサンプルを見せてもらえます。また、同業のお店や近所のお店でも持っているところがあるはずですから、参考にして作ると良いでしょう。すでに従業員さんのいるお店では、その従業員さんと良く相談しながら作成することをすすめます。より良い労働条件を作るキッカケともなるし、コミュニケーションづくりや後から従業員さんが入ってきた場合のトラブル防止にも役立ちます。

現代の若者は自己主張がハッキリしている分、自分の仕事場や就職先に対してもクールな目を持っています。より良い労使関係を保つためにも、就業規則は作っておきましょう。

## 情報スクラップ

お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

### BOOKS

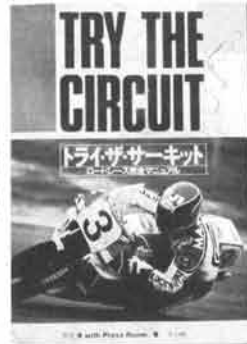
●初心者のためのレース入門  
『トライ・ザ・サーキット』

ブームと言われて久しいロードレースですが、まだまだ底辺には、予備軍と呼ばれるファンがたくさんいるようです。各サーキットで行われる走行会に、定員の数倍も応募があることでも、それは裏付けられています。

お店に集まるお客さまの中に、「レースを始めたいのだけど、まず何をすればいいのかわからない」と、二の足を踏んでいる方はいますか？ そのような方にオススメしたいのが、この『トライ・ザ・サーキット』です。単なるテクニク書ではなく、周辺情報も盛り込んだ内容は、入門者にとって

最高のバイブルとなるでしょう。

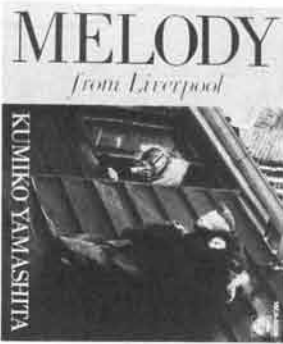
国際A級ライダー・市川 康ノブ  
レスルーム著 ナツメ社



### MUSIC

●寒さなんか吹き飛ばせノ  
『MELODY / 山下久美子』

山下久美子のシングルCDの登場です。本人が詩を書き、作曲にはダンナさんであるBOB WYのギタリスト布袋寅泰があたっています。舌つたらずな「久美子節」と複雑なサウンドがからみ合って、



### COMMODITY

●アレ、日本の横にハワイ？  
『立体地球バズル』

8年ほど前、突如として登場し、1億2000万人を不眠症に陥らせた立体バズル、ルービック・キューブを覚えていますか？ それは現在のファミコン・ブームに匹敵する、凄まじいものでした。

新しい久美子をアビールしています。アルバム『POP』のニュー・バージョンも収録。外は極寒、お店の中を「久美子節」で暖めてお客さまをお迎えしましょう。  
1500円 日本コロムビア株



今回紹介する『立体地球バズル』は、あのルービック・キューブを文字どおりワールド・ワイドにアレンジした立体地球バズルです。バラバラになった地球を復元するのも楽しいですが、思いのままに地形を変えてしまうなんて素敵ですね。アメリカとソ連の歩み寄りなんてのもできそうです。軍事大国間の緊張緩和と、頭の体操のために、コミュニケーション・スペースにおひとついかがですか。1980円  
お問合せ 榎野村トイ ☎03(862)2575



●サーフィングバッグの中に  
『サーフティ・ハサミ』

ナイフとハサミ——用途は似ていますが、決定的な違いがあります。携帯できるナイフと、できないハサミの違いです。

アウトドア・ブームののって、少しずつナイフへの馴染みも出てきました。まだまだ日常生活での登場は少ないようです。使い慣れたハサミを携帯できればいいのですが……。こんな願いを叶えてくれたのが、この『サーフティ・ハサミ』です。サーフィングバッグに忍ばせておけば、イザという時に活躍してくれそうですね。白、緑、黄、赤、黒の5色有り。  
お問合せ 小川博商会 ☎06(443)7460 500円/800円(メジャー付)

## YAMAHA Coordinated Look 1988

感謝を込めて、ヤマハから

お店の販促や、お客さまのサービスに、お役立てください

88年の幕明けです。何かこう、新しい気持ちで、88年をスタートしたいですね。きつとお客さまも同じ気持ちでいるでしょう。身近な小物を取り換えてリフレッシュ、というのはいかがですか？ たとえばキーホルダーとか……。そこで今回は、ヤマハ・キーホルダーを4種ご紹介しましょう。スクーター・ユーザーにも、スポーツ・ユーザーにも喜ばれそうですね。

皮キーホルダー (No.084/各1200円)  
自然の風合いの本皮に、YAMAHAのプレートがキラリ。2タイプがあります。



アクリルキーホルダー (No.085、086/各600円)  
スマートなアクリル製。往年の名車YA-1、DT-1のイラスト入りです。裏面にはYAMAHAのロゴ。



ラウンドオーブナー・キーホルダー (No.087/500円)  
タイヤをイメージしたデザインの中身は、セン抜き機能。アウトドア派に。



浮き輪キーホルダー (No.088/500円)  
浮き輪型のセン抜き付きキーホルダー。マリン感覚がいっぱいです。

※価格は参考小売価格です。詳しくは担当セールスマンにお問合わせ下さい。

## 快調ヤマハ・サッカー 単独首位で前半戦を終了!



### 第23回日本サッカーリーグ 1部リーグ

リーグ開幕戦で強豪、三菱重工を1対0でくだし、好調なスタートをきったヤマハは、第7節終了時点までに負け知らずの勝点12を得て、目下リーグ単独首位に立っています。

昨シーズン、得点力の不足から、わずか3勝しかあげられなかったヤマハは、アンドレ、アンデイスソンの加入でパワー

日本サッカーリーグ勝敗表(第7節終了時点)

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失差
1	ヤマハ発動機	12	5	2	0	9	4	5
2	日本鋼管	11	5	1	1	9	4	5
3	ヤンマー	8	2	4	1	7	5	2
4	三菱重工	7	3	1	3	11	9	2
5	本田技研	7	2	3	1	4	4	0
6	フジタ工業	6	3	0	3	7	5	2
7	読売クラブ	6	2	2	1	5	3	2
8	古河電工	6	2	2	3	5	6	▲1
9	マツダ	5	1	3	3	5	7	▲2
10	日産自動車	5	1	3	3	4	6	▲2
11	住友金属	5	2	1	4	3	8	▲5
12	トヨタ自動車	2	0	2	5	3	11	▲8



アップ。チーム全体の動きにもスピードが加わり、圧倒的な強さを誇っています。

なお、日本サッカーリーグは一時中断され、2月20日より再開されます。再開第一戦、ヤマハは21日に東山サッカー場で、本田技研と対戦します。みなさんの暖かいご声援をよろしく願います。

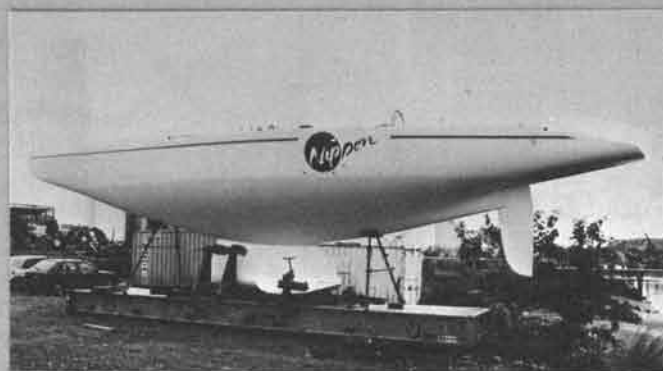
## ニッポンチャレンジ・アメリカスカップ通信

2



ニッポンチャレンジアメリカ杯1991

## 12メートル級トリアルホース(練習艇) ボートショーに出品



ヤマハ発動機機もオフイシャル・スポンサーとして参加している「ニッポンチャレンジアメリカ杯」は、艇の建造、クルーの育成など着々と準備が進められています。

トリアルホースとしてニュージランドから購入する2隻のヨットは、ニッポンチャレンジカラに化粧直しを行った後、2月10日～15日まで開催される、東京国際ボートショーに出品される予定です。場所はモーターショーでお馴染みの晴海国際見本市会場、お楽しみに。

## 全日本F3000シリーズ最終戦 亜久里の優勝で、OX77今季3勝目!



四輪F3000シリーズの最終戦(鈴鹿サーキット/12月6日)で、コスワース・ヤマハOX77を駆る鈴

木亜久里が優勝し、今季2勝目をあげました。

決勝レースでは、G・リリス星野一義と激しくトップ争いを演じ、まずリリスが脱落、追いつける星野を振り切ったの優勝です。これで亜久里はシリーズ・ランキング2位に決定。OX77は第7戦のラームス、第8戦の亜久里の連勝と合わせ3勝目。昨年のOX66の活躍とともに、'87年もシリーズ戦の台風の目として、大いにファンを沸かせました。



## 雪にも負けず、SDRファン大集合!

12月13日(日)、東京周辺は例年より一か月近く早い雪に見舞われましたが、この日、ヤマハ東京株の主催による「SDR FAN MEETING in WATER FRONT」が開催されました。会場の船の科学館には、SDRファンが悪天候にも負けず多数集まり、

寒さを吹き飛ばす勢いで楽しい一日を過ごしました。当日は国際A級・塩森選手のサイン会や、SDR開発スタッフによる開発秘話など、興味深い内容が盛り込まれ、参加者たちもすっかり満足していたようです。開発スタッフに対しての質問コーナーでは、日常メンテナンスから塗装のノウハウに至るまで、さまざまな意見が交換されました。寒い中集まって下さったみなさん、本当にご苦労さまでした。



## 寒空の下、2022名が集合 バイクビレッジin帝釈峡



## 長崎スタジアムトライアル 2000人が美技に酔う



(ヤマハ九州株)長崎・時津町特設会場で開催された「長崎スタジアムトライアル」(主催・浦上自動車学校)に、2000人を超える観客が集まりました。  
'87全日本トライアル・チャンピオンの伊藤敦志をはじめ、市川紀之、西寛久などの国際A級ライダーが顔を揃え、エキビジションで妙技を披露。九州のファンの熱い声援に応えました。トライアル熱の高い九州のファンも、代々木なみのセクション設定に、大満足の一日を過ごしました。



## XT600テネレと夫婦ライダー ワシントンD.C.より第二報

XT600テネレに乗って世界一周ツーリングに出発した斉藤夫妻から、編集部へ第一報が届きましたので紹介します。

「スタートして約3ヵ月、2万キロ以上走行しました。テネレは2台とも調子良く、またタフで、パワーも

トルクも充分あり、このバイクを選んで本当に良かったな、と思います。アメリカ、カナダでの評判が良く、このバイクはこのバイクで、何て名前なんだ」という質問によくあります。(中略)ロスからスタートして2万キロ、たかさんの素晴らしい

出合いをしています。それが人々であり、大自然であり、アメリカもカナダも本当に素敵な顔を持っている国ですね。——11月1日。

手紙によると、大きなトラブルもなく、元気に旅を続けているようです。二人はこの後南部を走り、再びロスに戻って南米に渡る計画です。手紙の全容を紹介できないのが残念ですが、まずは報告まで。





(ヤマハ中国(株)岡山営業) 11月15日、もうすっかり寒くなった頃ですが、岡山Y.E.S.S.店会の主催による「バイクビレッジin帝釈峡」には、なんと202名ものY.E.S.S.スタッフが集まりました。

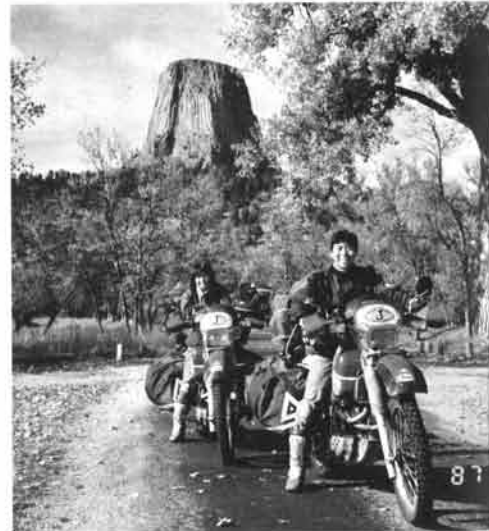
帝釈国民休暇村キャンプ場に集合したスタッフは、昼食後、ドツヂポール、Y.E.S.S.・NOクイズ、カップヌードル早食い競争などを楽しみ、約2時間のイベントは大成功。当初の参加予定数は150名としていたものの、当日集まったスタッフは前記のように202名。会場整理に当たったヤマハ社員からは、うれしい悲鳴が聞かれました。



西ドイツの二輪専門誌「MOTORRAD Reisen und Sport」では、毎年3部門のバイク・オブ・ザ・イヤーを選出していますが、'87年度のバイク・オブ・ザ・イヤーにFZR1000とDT80LC/Zが輝きました。

3部門ベスト3の合計9モデルが権威ある各審査委員の手により選ばれるわけですが、うち5モデルまでをヤマハ車が独占しました。惜しくもバイク・オブ・ザ・イヤーをのがしたオフロード部門でも、XT600Zが2位。1位との得票率の差は、わずかに0.2%という結果です。

## FZR1000、バイク・オブ・ザ・イヤーを獲得



## デュアルパーパスの ポリスバイクが登場

XT600にまたがり、悠然と走行しているのは、ノルウェーの警察官です。実はコレ、新型ポリスバイクのテスト風景なのですが、ノルウェーではとくに若者層のライディング・テクニクが向上しているため、より機動力の高いオフロード車動入となったわけです。XT600なら、オンロードでもオフロードでも、ヤングたちに追いつける……?でも考えたのでしょうか?



## 125cc世界選手権モトクロスに、ヤマハ初の栄冠！ 王者バンデンベルグ、タイトルを土産に來日



’87年世界選手権モトクロス125ccクラスチャンピオン、ジョン・バンデンベルグが、その報告を兼ねて來日。11月27日、ヤマハ本社を訪れた。125ccクラスのタイトル獲得は、ヤマハとしても初めてのことであり、その戦いぶりは大きく興味を魅かれるところ。まだ、あどけなさの残る20歳のヒーローに、マイクを向けて

みた。  
「プロフィール」  
JOHN VAN DEN BERK  
●国籍…オランダ ●生年月日…’67年5月11日 ●趣味…ドライブ、スカッシュ ●レース歴…  
’84年 世界選手権モトクロスシリーズ125ccクラス・13位/オランダ選手権モトクロスシリ



’85年 世界選手権モトクロスシリーズ125ccクラス・2位  
’86年 世界選手権モトクロスシリーズ125ccクラス・2位  
’87年 世界選手権モトクロスシリーズ125ccクラス・1位  
●所属チーム…YMBV

全12戦24ヒート中、優勝が5回3位以内入賞が12ヒートと、全体に安定したシーズンのようでしたね。「ええ、特に今年のYZ125は仕上がりが良く、それに自分自身の調子も良かったので、一切の不安を持たずに戦えました。ベストマシン、ベストコンディションで臨めたことが、コンスタントに入賞できた要因だと思います」  
— チェコGPでランキング・リーダーに立った後、ストレイボスとのタイトル争いは激しかったですね。その中でチャンピオンを確信したのは、いつ頃からですか。  
「今シーズンは常にタイトルを意識

して走りましたけど、第7戦の北アイルランドで第1、第2ヒートを連勝して、これならいけると思いました。確かにこの時点では、ストレイボス選手からたった1ポイントのリードでしたが、彼と較べて僕の走りの方が安定していたので、自信を持ったのです」  
— 第11戦のアメリカGPではあまり良い結果を残せなかったようですが、アメリカンライダーについて聞かせて下さい。  
「彼らが速いからというわけじゃなくて、僕自身のコンディションが悪かったんです。カゼをひいてしまつて、体調は今シーズン最悪のものでした。食事もノドを通らないし、練習もできない状態で…。それでも第1ヒートで6位に入れて、かえつ

て自信になりましたよ(笑)」  
— シーズンを通じての作戦がありましたら教えて下さい。  
「気持ちの上では、コンスタントに上位入賞することを考えてました。ですから、速さより安定に重点を置いていましたね」  
— 最後にヤマハ販売店のみなさんと、日本のモトクロスファンに一言お願いします。  
「応援ありがとうございます。僕がチャンピオンになれたのも、YZ125というグッドマシンに恵まれたからだと考えています。現在は20歳ですが、目標はリック・ジョンソン以上のグッドライダーになることです。’88年も声援をよろしくお願いします」

## ■スワンシリーズ ケビン・マギー、凱旋勝利



日本のモータースポーツ・シーズンも終了した11月30日、南半球オーストラリアではロードレースのスワンシリーズが開幕。合計3戦によってタイトルを争うこのシリーズに、ヤマハからはK・マギーとM・ドーソンがFZR1000で出場、見事にシリーズランキング1、2位を占

めた。  
’87年、ビック2&4レースを皮切りに鈴鹿8時間耐久レース、TBCビッグロードレース、SUGOTTFIと日本で大暴れしたケビンには、故郷オーストラリアでも本領発揮、いよいよ’88シーズンはワールド・グランプリにフルエントリーの構え。

# FZ400R フルフェアリング

## FZ400Rは 仲間うちでも大人気



須又哲さん(東京都品川区)

●17才・学生●所有免許・中型二輪●  
二輪乗車歴・原付を含めて1年●FZ  
400R・フルフェアリング・昭和62年  
12月購入●購入店・YSP五反田●F  
Z400R以外の所有車ナシ

16才のとき原付を取ってすぐに乗った  
のがヤマハRZ50でした。

このときは特に中型二輪の免許を取ら  
うなんてまったく考えていなかったの  
ですが、RZ50で街中を走っているうちに  
だんだんとバイクがおもしろくなっ  
て、すぐに中型免許を取得しまし  
た。いわば僕のバイクライフに火をつけた  
のはヤマハのバイクなんです。  
そしてFZ400Rを購入したので

が、比較対象車はFZ400Nでした。

つまりフルカウルかノンカウルかとい  
う違いで、根本的には初めからFZを求  
めていました。まず直線的なデザインと  
ストロボカラーが大好きだったことと、  
仲間同士でもFZの評価は高く、一般道  
路での使用は、FZR400と比べても  
大差ないのでこれに決めました。  
まだ17才で、今後4輪免許を取得して  
4輪も持つようになると思いますが、バ  
イクライフはずっと続けたいと考えてい  
ます。

冬の季節になりましたが、時間さえあ  
ればバイクに乗っている毎日です。  
これからもツーリングにどんどん使っ  
ていって、夢はいつか北海道ツーリング  
を実現したいと思っています。

## 丸いデュアルヘッドが 好きなんです

小池雅之さん(東京都豊島区)

●22才・会社員・独身●所有免許・中  
型二輪●二輪乗車歴・1ヵ月●FZ4  
00R・フルフェアリング・昭和62年12  
月9日購入●購入店・YSP東京北●  
FZ400R以外の所有車ナシ

高校生の頃からバイクに乗りたいと思  
っていたのですが、3ナイ運動などの問  
題で免許が取れず、その後大学では、資  
金の問題で取れず、そして社会人とな  
ってようやく免許が取れて、少々遅いバ  
イクライフのスタートです。

FZ400Rにしたのには大きく2つ  
の理由がありました。

第一にはデザインで、現在のよう曲  
線よりはFZのような直線的なデザイン  
が好きだったことと、丸いデュアルヘッ

ドランプが好きになりました。  
そして性能面でも、私が満足できるも  
のであれば、レーサーレブリカでなくて  
もいいという割り切りがあったんです。  
FZ400Rはそんな条件を満たして  
いましたね。

ジェネシスエンジンの本領を発揮する  
のはやはりサーキットだと思いますし、  
そんなことからFZ400Rは街中か  
らツーリングまで普段使うには充分な  
だけの性能を持っています。

今後は街中では通勤に、休みの日はツ  
ーリングに使っていこうと考えていま  
す。まだ100kmそこそこしか走っていま  
せんが、早く馴らし運転が終って、高速  
を使ったロングツーリングに出掛けたい  
ですね。



このページは、ヤマハ発動機各課から販売店のみなさまへのご案内です。さらに詳しくは、担当のセールスマン、各特約店、販売会社のサービス課（サービス）、普及課（セフティ）部品営業課（パーツ）までお問合せください。

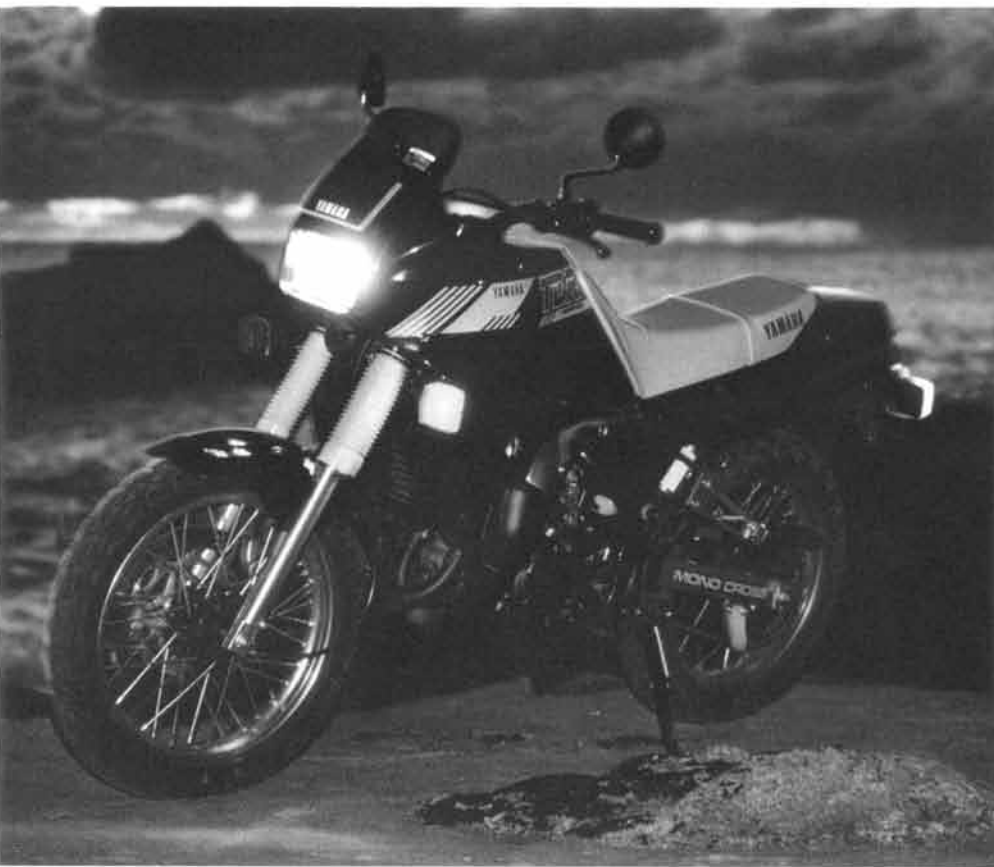
SALES

# 88チャレンジ3000キロ モニターツーリングの沖繩を 開催します

話題のニューモデルの試乗を兼ねて、一年中バイクシーズンの沖繩をのんびりとツーリングしていただくYESSの企画です。用意したモニター用バイクは『TDR250』と『XV250ピラー』

『ゴ』。新商品導入期の話題づくりに、どうぞお客さまへのご案内、よろしくお願ひいたします。

日程①2月5～7日②2月12～14月③2月19～21日④2月26～28日⑤3



月4～6日⑥3月11～13日  
使用車①～③TDR250（20台）XV250ピラーゴ（5台）④～⑥TDR250（10台）XV250ピラーゴ（5台）④～⑥は応募状況によってTW200を5台追加します。

参加費札幌発¥99、000東京発¥69、000名古屋発¥67、000大阪

SAFETY

## MFLライセンスとキッズライセンスに改新されました

より多くの人たちに、より幅広いモータースポーツを気軽に楽しんでもらうために、MFJ（日本モーターサイクル協会）では、新たに2つのライセンスを作りました。

MFL・Lライセンス 従来の県協会個人会員の改定です。Lはレジャースポーツの略です。年令や他の免許の有無を問わず、誰でも容易に取得が可能。全国各地で開催されるMFJ承認行事・競技に参加でき（競技によっては参加できない場合もあります）、また各種催事の際にサービ

スや特典が受けられる他、二輪車・四輪車を運転中や同乗中の事故に対しては最高120万円までの見舞金が支払われます。MFJキッズライセンス 従来の限定Bライセンスが改められたニューライセンスです。9歳から15歳までの男女が対象で、モトクロスやトライアルのライセンス講習会を受講すれば取得できます。承認行事・競技および公認競技会など幅広

発¥64、000福岡発¥59、000

※参加費には往復航空運賃、宿泊費（JALオクマリリゾート2泊）朝食2回、夕食2回、旅行傷害保険代が含まれています。

※詳しくは株式会社、国内旅行販売開発課までお問い合わせください。またYESSショップ向けチラシも用意してあります。

MFLライセンス（県協会個人会員）が

Lライセンスとキッズライセンス

いイベントに参加でき、上級クラス（ジュニアや国際B級・A級）への昇格の道が開かれています。但し、ロードレース部門のキッズライセンスはなく、16歳以上の運転免許取得者のみ、Bロードまたはノービスライセンスが取得できます。どちらもモータースポーツの底辺拡大を目標に新設されたライセンスです。積極的にご案内、ご活用ください。





## サーキットカートレース 専用モデル新発売

KART

レーシングカート  
でロードレース用コ  
ースを疾走し、4輪  
F1レースを彷彿す  
ることで大人気を集  
めるヤマハフォーミ  
ユラー00・サーキ  
ットカートレース用  
のニューマシンを發  
売します。

コントローラビリ  
ティにすぐれたRC  
100SC\*モデル  
をベースに、エアロ  
ダイナミクスを徹底  
追求した4ピースの  
フルカウルを装備。  
ヤマハF100サー  
キットカートレース  
の楽しさとともに、  
広くお客さまにご案  
内ください。

**YAMAHA RACING KART F100**  
発売日：12月1日 標準小売価格 ¥388,000  
※予約限定発売となります



SERVICE

お客さまへの新商品紹介に  
『新商品説明用ビデオ』を  
ご活用ください

新機構や商品の概念を解説した販売  
店さま向けの新商品教育用ビデオを、

テスト的に一般ユーザーのみなさんに見  
ていただいたところ「ぜひ店頭でも見る

ことができるようにしてほしい」との意  
見を多数いただき、大変な好評を得るこ  
とができました。

販売店のみなさまにとつても、正しい  
情報をダイレクトにユーザーに提供でき  
ることのメリットは大きいと思われるた  
め、この度、TDR250、XV250ピ  
ラーゴの新商品説明用ビデオを販売店さ  
ま向けに販売することになりました。

従来の新商品プロモーションビデオと  
合せてご活用いただければ、より効果も  
大きいと思われるます。

### 1月の

### ヤマハ提供テレビ番組

ヤマハ提供のテレビ番組「ONアンド  
OFF」(テレビ東京系)の1月の放送予  
定は次のとおりです。

▼1月8日 「スターダストロード」パ  
イクを使って天体観測所へ集う仲間た  
ち。

▼1月15日 「トップ・スピード」14年  
ぶりに開催された、スピード記録会の  
模様。

▼1月22日 「もうひとつのTOKYO  
パート5」パイロットの目から見たも  
うひとつの東京。

▼1月29日 「海辺のターゲット」海辺に  
あるレストランの主人のマリンライフ。

### ニュース22プライムタイム

TBS系列のニュースショーです。放  
送日/月曜から金曜の毎日。放送時間/  
夜10時から10時45分。お客さまにご案内  
ください。

品名 TDR・XVビデオ/¥29,950  
(VHS/ベータ共) 約20分

### ●新発行物のご案内

サービスマニュアル  
TDR250 ¥3,000  
XV250ピラーゴ ¥3,000  
シグナス125(追補版) ¥2,000  
サービステータ'87年度版 ¥2,000  
テレフォンデーターブック'87年度版 ¥600  
※お問合せはヤマハ特約店及び販売会社の  
サービス課まで



# BIG VOCS

## ヤマハ販売店さま専用の レジ付コンピュータ・システム

かつて、と言ってもまだ20〜30年くらい前のはなしですが、ラーメンといえはしなく、となる。とチャーシュー2枚にきざみネギをばらまいたあの中華そばしかない、という時代がありました。靴といえは革靴とズツクの使いわけしなく、インフルエンザもホンコン風邪もハナ風邪もみんなひっくるめてただの風邪、といっていた時代があったのです。

ところが今日では、学問／研究の分野から日用品にいたるまで、何もかもが細分化されてしまいました。たとえば、ラーメンひとつとってみても、塩、バター、みそ、わかめ、とんこつ、コーン、地域別にサッポロ、博多、

広東、ホンコン、年令別に激辛、減塩、はては中日友好ラーメンまで出現して、とても両手の指でかぞえることはできません。

食べものはばかりでなく、いろいろな品物の中からその機能、性能、デザイン、色、価格によって自分の好みに基づいたり合ったものを見つけ出すよろこび、そして自分の生活にかかわる品々を自分のポリシーに従って増やしたり買い替えたりしていく楽しみ……買う側にとっては胸がわくわくするような時代と言えましょう。

ところが、それが売る側となると事情は一変します。増え続ける商品の種類、多様化さ

れ変化していく買い手の好み……それを把握するだけでも気が遠くなるような大仕事なのに、それを管理し、アフター・ケアするのは並大抵のことではありません。

そこで、このような時代の変化に対応するためヤマハでは、ヤマハ販売店さま専用の「情報発信」ツール、BIG VOCSを開発しました。

### POSの原則に従って開発

いま、デパート、スーパー、コンビニエンスストアは言うに及ばず、酒販店、薬局、メガネ店、化粧品店、ブティックなど、様々な業種の小売店でPOS（販売時点情報管理）システムの導入がすすんでいます。

POSシステムの役割として一般に言われることは、

- 1、単品ごとの売上を端末から正確に登録する
- 2、売上の情報をお客さまのデータと連結させ、販売動向を把握する
- 3、消費者のニーズをとらえ、的確な品揃えを可能にする。

この原則に立って開発されたのがヤマハのヤマハ販売店さま専用のPOSシステム、すなわちBIG VOCSなのです。

### お店管理の頼りになる右腕

このような、いわゆるOA機器は、魔法つかいではありませんが、簡単な操作によって魔法のようにたちどころに知りたい情報が得られます。

BIG VOCSのもつ機能は日常業務、



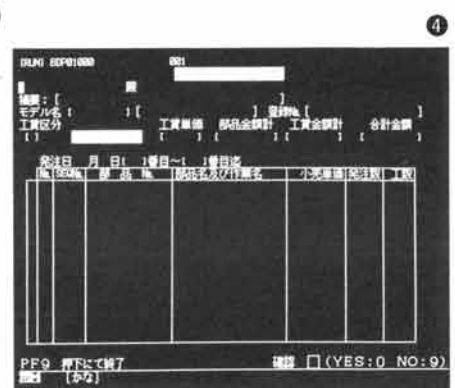
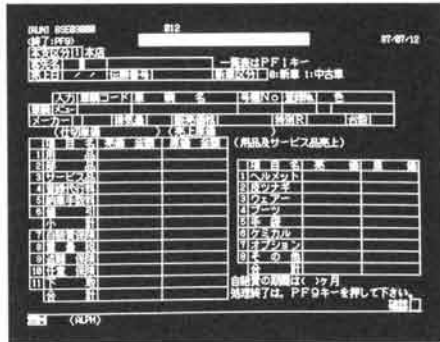


以上の操作はほとんどレジ感覚で行えますから誰でも簡単にこなせます。またBIG VOCSでは管理区分に従って商品名がキーボードに配列されており、ワンタッチで商品名の入力が可能です。(写真⑤) たくさんの商品、多勢のお客さまのデータを管理しフルに活用するのは、子供がTVゲームをすぐにマスターし、応用するのと似て、トライしてみればとても楽しいものです。そして使いこなせば販売店のみならずの頼もしい右腕となるのは間違いありません。

最後の売上管理システムは、売上、在庫の管理を行います。仕入、入出庫、売上を画面の指示に従って入力すると、その月の入出荷一覧表、在庫明細表、売上明細表、売上・粗利の分析表、見積書、請求書等が出力され、利益状況も容易に把握できます。また経理システムとして、税金の申告にも対応できる一連の帳簿類、毎月の損益計算書、貸借対照表も自動集計により即座に出力します。(写真③④)

顧客管理、売上管理の3つに大別できます。まず日常業務ですが、これはレジとDRESSの機能を合わせたものと考えて下さい。操作は普通のレジと同じ。お客さまに渡すレシート、毎日のレジ精算表、入出金一覧表等が出力されます。また売掛残も同時に管理できます。部品の発注システムは「DRESSテレホン」と同じ操作で行います。ヤマハ営業所への部品発注、在庫、注残の確認がリアルタイムで正確に行えます。(写真①)

つぎは顧客管理です。顧客台帳、販売分析資料の作成、DMの発行等、VOISの機能が内蔵されていますので、必要な資料が必要な時に、その場でとり出せます。新規登録、更新も店内で手軽に行えます。(写真②)



# 一貫した姿勢が育てる多彩な対応 今、ヤングの人気を集めています

**YSP伏見 桑野 豊社長**

●京都市伏見区桃山町丹後10-4 ☎075(622)3663

お店の第一目標は「ここなら間違いない」とお客様に言わしめること。オープンから丸7年が過ぎ、顧客名簿に記載されるお客さま数が1500名を超えた今も「YSP伏見」さんのこの目標は変わっていません。こんな初心を忘れないう前向きのご商売ぶりがウケにウケて、スポーツバイクに乗るヤングユーザーを中心にお店の人気は抜群です。

## ●成約に結びつく 有効なアプローチ

古都・京都の南にあたる伏見区に「YSP伏見」さんがオープンしたのは80年5月。140坪の敷地に60坪の店舗というゆとりのスペースに加えて、幹線道路・外環状線に面し、さらにお店のすぐ裏手に京阪宇治線の桃山南口駅があるという立地の良さです。

この恵まれた条件を活かしてオープン当初から続けているのが店頭試乗会。今ではすっかりと地元ユーザーに定着したイベントとなっています。

「YZ」の頃から新車が出ると同時に店で1台ずつおろし、すぐ試乗会を行なっています。最近では「FZR400/250」「TZR」「SDR」なんかをやりましたね。

お客さんへの告知は地元紙の京都新聞に広告を入れて、土・日曜に開催するといった具合ですが、実際には平日にやってくるお客さんも多くて、開催から1週間ですぐ50名くらいが集まりますね」

ほとんどのお客さまがスポーツバイクユーザーで、さらにその内の3割近くが免許取りたての新規ヤングという特徴的なお客さま構成も、この店頭試乗会の成果のひとつといえそうです。

さらに試乗会の効果として――

「お客さんは迷っているんだと思いますね。これだけ車種が豊富だと、4サイクルの中でもどれにするか?とか、同じ排

気量ではどれが自分の好みに合っているかという具合です。

例えばSDRの試乗をしたお客さんでも、その乗り味をジックリと吟味し「やはりTZRがいいや」とか「4ストにしよう」とか、車種選びのひとつの基準にもなるようで、試乗車以外の成約もありません」

これ以外にも試乗したお客さまからは必ずアンケートを取り、次の試乗会や店頭セールなどのDM配布資料ともしています。

## ●店の機能の充実

こうしてキャッチしたお客さまも、乗せっぱなし、売りっぱなしの状態では固定化することはできません。価格だけでは客とならないのが今の人たちと、アフターフォローの充実、サービス技術の充実に余念がありません。

「お客さまに『この店なら間違いない』という評価をしてもらうことが、イコール固定客を育てていくことだと思います。それには色いろな要素が必要ですが、

まずは『感じのいい店』でありたい。どのスタッフに質問をしても、心地く適確な答えが返ってこなくてはいけません。接客についてもサービス技術についても、シッカリした知識を身につけるようみんなを勉強しています。

また、サービス技術力の充実についても現在2名いるサービス・スタッフがヤマハ二輪車整備士講習会を受講し、揃ってマスタークラスを取得しています。もちろん目標は2人ともドクター資格の取得で、日頃から知識と技術の取得に励んでいます。そしてもうひとつ大切なのが、迅速な

左から桑野豊社長、森岡幸子さん、安達文緒さん、増尾均さん



対応ですね。お客さんは購入されるまでは時間をかけますが、購入を決定した後の対応についてはできるだけ早くやってほしい、というのが本音ですから。

2台の軽トラックを用意して、1台には300kgまで持ち上げられるウィンチを備えつけて、急な故障に対応できるような機動力を高めています。

迅速な対応のためには、よく使うパーツのストックをしたり、注文したパーツに関しても翌日の朝にはスタッフがパーツセンターに立ち寄って部品を受け取ってくるなど、少しでも早い納車を心掛けています」

## ●行動力いっぱい 女性たちのために

日頃の地道な努力を怠らないことこそお店の信用を高める最短の方法のよう



87年11月に導入された「BIG VOCS」の前にデータ管理をする桑野豊社長

お店訪問



見やすく整理された用品コーナー



滋賀県大津へ抜ける外環状線に面した「YSP伏見」さん



ショールーム奥にある用品コーナーと商談スペースは別ルームになっている



商談カウンターにはY.E.S.S.のディレクターチェアを置くなど、細部の演出もバッチリ



自然光を生かした明るいショールーム



ショールーム内はスクーター、オフロード、オンロードと、見やすく分類されている



同じぐらいは要求があります」  
 そんなニーズに対応して、現在メカニカル・スクールを企画中。「ここなら間違いない」との評価にまた新たな側面も加わり、ますます意欲的にご商売に取り組まれる「YSP伏見」さんです。

顧客リストを見ながら、250cc以上に乗る女性客にDMで呼びかけたところ、19名の希望者があったのでスタートとなりました。  
 最近の女性っていうのは行動力もあるし独立心も強くて、積極的に遊びも楽しみますね。女性だから」という考えは捨て、技術知識からレース参加まで男性と同じぐらいは要求があります」

「いくらツーリングに誘っても、女性のお客さんは一人では男性の中には飛び込めないし、走るペースや楽しみ方も違うので女性のクラブを作ろうって話になったんです。  
 顧客リストを見ながら、250cc以上に乗る女性客にDMで呼びかけたところ、19名の希望者があったのでスタートとなりました。

ですが、そんな努力に加えてもうひとつ、お店の魅力となる活動に遊びの提供があります。「YSP伏見」さんでは、従来からあるお店のツーリングクラブ「サウス・ウインド」を中心に多彩なイベント活動を展開していますが、さらに昨年11月にはここ数年目立ちはじめた女性のスポーツバイクユーザーに対応してレディースクラブも発足しました。

# 実証 ヤマハライディングウェアが他のライディングウェアと一味違う理由、それはどの製品についても確たるバックデータが揃っていることです。走るために必要な機能を徹底的に見つめ、数かずの実験を繰り返しながら開発が進められ、確実な成果が得られたものだけを製品としています。

## スーパーサーモプロテクション(STP)をお客さまにご案内ください。

ヤマハライディングウェアが他のライディングウェアと一味違う理由、それはどの製品についても確たるバックデータが揃っていることです。走るために必要な機能を徹底的に見つめ、数かずの実験を繰り返しながら開発が進められ、確実な成果が得られたものだけを製品としています。

使った7層構造のライディングウェア。ビュア・スポーツRY-180の保温力を実験しているところです。この結果、今までにない抜群の防寒性が実証されました。

ヤマハではこの卓越した機能を持つ新構造材に対し、STP(スーパーサーモプロテクション)の呼称をつけました。冬のライディングをより快適にするヤマハウエアの数かず、どうぞこのテクノロジートともにお客さまにご案内ください。



RY-180 ブルゾン  
(限定商品) ¥39,500



### 「ヤマハのライディングウェア・テクノロジーが新機能をつくる」

STPとは、下の諸条件を満たした高い防寒性を備えた構造の名称です。

- ①保温性のアップ!  
超極細繊維の中綿を2層にサンドイッチした7層構造などにより非常に高い保温性を実現。
- ②輻射熱のしゃ断!  
体内から放射する輻射熱を外に逃がさないために、アルミコーティングをかけた表素材や、アルミフィルムをラミネートした裏地を使用。
- ③防風性のアップ!  
走行時、風の侵入しやすい部分である、カフス・腰部・ファスナー部は、徹底した防風構造。
- ④着やすさ!  
ツーリングに便利なバックポケット等、実際の着やすさにも細かい配慮をしています。

〈ブルゾン〉

表地：セラミックコーティング  
(スタナーエアフォース)

中綿：バイウォーム

裏地：ポリエステルタフタ

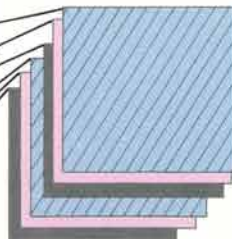
〈ベスト〉

表地：セラミックコーティング

中綿：バイウォーム

裏地：アルミフィルム+ポリエステルメッシュ

体温と放射熱をKEEPし体表面へと反射させる\* ヤマハセラミックコーティング\*



テイステイキわめる  
**XV250** ビラーゴ  
**ボルトオン・オプション**

巻頭カラーページで紹介の『XV250 ビラーゴ』の専用ボルトオン用品です。どのオプションも機能にプラスして、本体の洗練されたデザインを一層引き立たせるすぐれたセンスが売り物。本体とセットでお客さまにおすすめください。



**サブキャリア**

標準小売価格 ¥2600  
 本体のシルエットにベストマッチングするシャレたファッションキャリアです。  
 (積載 3kgまで)

**ラージキャリア**

標準小売価格 ¥4800  
 業務用に使える大型サイズ  
 (積載 5kgまで)



**シーシーバー**

標準小売価格 ¥7200  
 大型のパッド付き背もたれ



**グリップ** 標準小売価格 ¥4800  
 シートまわりを引き締めるアメリカンタイプの小物。サブキャリアの同時装着も可能。

RY-181  
 ブルゾン (限定商品)  
 ¥33,000



RY-182  
 ブルゾン (限定商品)  
 ¥43,000



YL-532  
 ウィンタグローブ (限定商品) ¥10,000



